

本業の稼ぐ力の改善

ヤマシンフィルタ株式会社

2023年3月期

決算説明資料

2023年5月24日

- 中国市場停滞・海上輸送費の高止まり・原材料費高騰・円安の影響等により減収減益の一方、更なる価格転嫁と原価改善により収益力の改善に努める

建機用フィルタ事業（事業環境）

市場

日本

北米

欧州

アジア

中国

↑ 建機の稼働時間と新車需要は堅調に推移 ↓ 低調

物流コスト・原材料価格

為替

高騰

円安が進行

エアフィルタ事業（事業環境）

オフィスビル等の交換需要は回復傾向

CO₂削減や産業廃棄物削減といった環境課題のもと

当社のビジネス拡大機会が到来

2023年3月期
業績動向

連結売上高：**186億5百万円**

前期比：**1.1%減収**

連結営業利益：**12億35百万円**

前期比：**8.1%減益**

※自己資本比率：**82.0%**

建機用フィルタ

前期比 1.8%減収 159億45百万円

建機の稼働時間と新車需要は堅調に推移するも、中国市場における経済活動の停滞により需要減少

エアフィルタ

前期比 3.2%増収 26億59百万円

経済活動の回復に伴いビル空調用フィルタ需要は回復傾向にあり、前年並み

I

2023年3月期第4四半期実績及び2024年3月期通期業績見通し

P3

II

市場を取り巻く環境

P30

III

今後の戦略

P44

決算

I 2023年3月期第4四半期実績及び 2024年3月期通期業績見通し

2023年3月期 第4四半期業績 (2023年1月-3月)

	2022/3期 Q4 実績		2023/3期 Q4 実績		前年同期比	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率		
売上高	4,633	4,486	△146	△3.2%		
建機用フィルタ※1.2	3,950	3,794	△155	△3.9%		
エアフィルタ	683	692	9	1.3%		
営業利益 (セグメント利益)	230	167	△63	△27.4%		
建機用フィルタ※3	272	127	△144	△53.1%		
エアフィルタ	△41	39	81	—		
営業利益率	5.0%	3.7%	△1.2Pt			
経常利益	238	75	△162	△68.1%		
経常利益率	5.1%	1.7%	△3.5Pt			
四半期純利益	135	98	△36	△27.1%		
四半期純利益率	2.9%	2.2%	△0.7Pt			
為替レート (円) (期中平均値)	USD	112.4	135.5	23.1	20.5%	
	EUR	130.6	141.0	10.4	8.0%	

※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

※3 2022/3期の営業利益については、全社費用として別掲していた本社及び子会社の管理部門の一般管理費等の費用について、各セグメントの営業利益に含めております。

(単位：百万円)

	2022/3期 末	2023/3期 末	増減額	増減率
流動資産	13,964	12,923	△ 1,040	△ 7.5%
現金及び預金	3,750	4,113	363	9.7%
受取手形及び売掛金	4,696	4,446	△ 249	△ 5.3%
棚卸資産	4,775	4,141	△ 633	△ 13.3%
その他	742	221	△ 520	△ 70.2%
固定資産	12,747	12,658	△ 89	△ 0.7%
有形固定資産	11,609	11,683	74	△ 0.6%
無形固定資産	236	172	△ 63	△ 26.9%
投資その他資産	901	801	△ 100	△ 11.1%
資産合計	26,712	25,581	△ 1,130	△ 4.2%

	2022/3期 末	2023/3期 末	増減額	増減率
流動負債	4,634	3,343	△ 1,290	△ 27.9%
支払手形及び買掛金	2,213	1,453	△ 760	△ 34.4%
短期借入金及び 1年内返済予定 長期借入金	403	683	280	69.4%
その他	2,016	1,206	△ 810	△ 40.2%
固定負債	1,506	1,260	△ 245	△ 16.3%
長期借入金	1,126	722	△ 403	△ 35.8%
退職給付に係る負債	232	257	24	10.6%
その他	147	280	132	89.9%
純資産合計	20,571	20,977	406	2.0%
負債・純資産合計	26,712	25,581	△ 1,130	△ 4.2%

*自己資本比率 77.0% 82.0%

	2022/3期 Q4 実績	2023/3期 Q4 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	3,509	3,415	△93	△2.7%
ライン品	1,465	1,585	120	8.2%
補給品	2,043	1,830	△213	△10.5%
産業用フィルタ※	234	178	△55	△23.8%
プロセス用フィルタ	206	200	△6	△2.9%
建機用フィルタ 合計	3,950	3,794	△155	△3.9%
エアフィルタ	683	692	9	1.3%
売上高合計	4,633	4,486	△146	△3.2%

※ ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から産業用フィルタの製品群に含めて開示しております。

	2022/3期 Q4 実績		2023/3期 Q4 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※1※2	3,950	85.3%	3,794	84.6%	△155	△3.9%
国内	1,873	40.4%	1,848	41.2%	△24	△1.3%
北米	692	14.9%	677	15.1%	△14	△2.1%
中国	392	8.5%	419	9.3%	26	6.7%
アジア	595	12.9%	422	9.4%	△172	△29.0%
欧州	395	8.5%	426	9.5%	31	7.9%
その他（中東他）	0	0.0%	0	0.0%	0	△79.9%
エアフィルタ（国内）	683	14.7%	692	15.4%	9	1.3%
売上高合計	4,633	100.0%	4,486	100.0%	△146	△3.2%

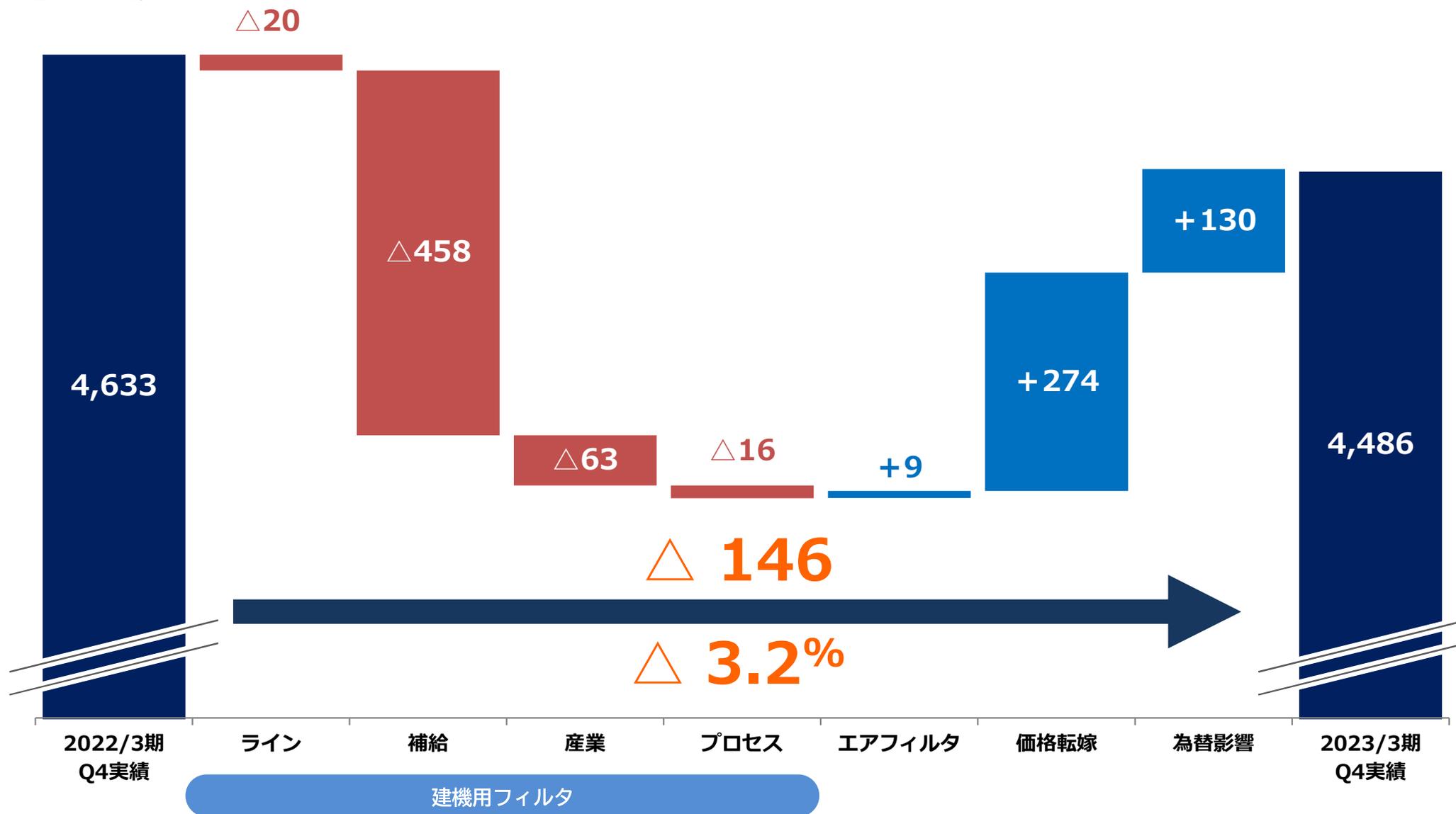
※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

売上高の増減要因 (2023/1-3)

(単位：百万円)

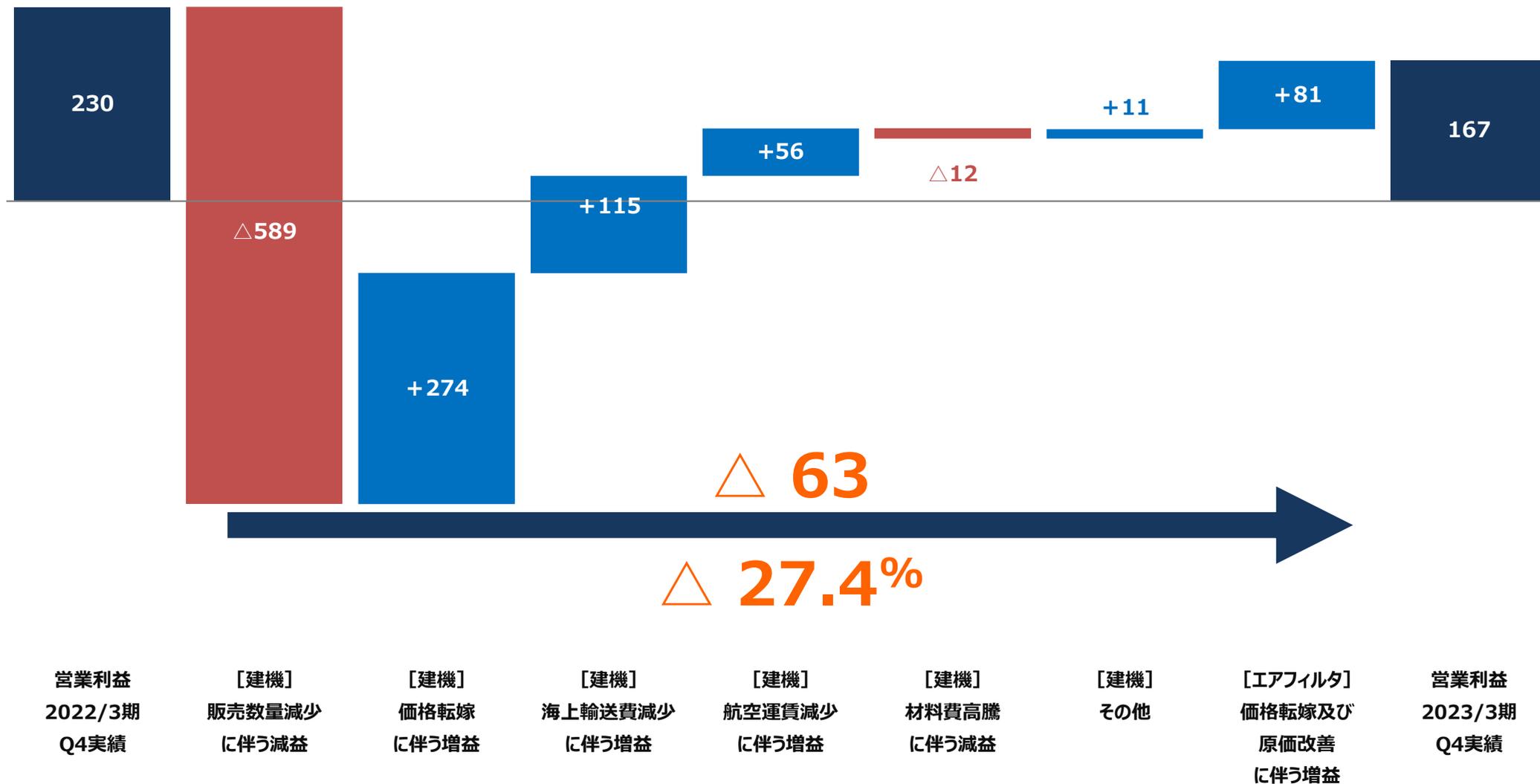


営業利益の増減要因 (2023/1-3)

(単位：百万円)

営業利益率
5.0%

営業利益率
3.7%



2023年3月期 業績 (2022年4月-2023年3月)

	2022/3期 実績		2023/3期 実績		前期比	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率	
売上高	18,821	18,605	△216	△1.1%		
建機用フィルタ ^{※1,2}	16,244	15,945	△298	△1.8%		
エアフィルタ	2,577	2,659	82	3.2%		
営業利益 (セグメント利益)	1,344	1,235	△109	△8.1%		
建機用フィルタ ^{※3}	1,467	1,150	△317	△21.6%		
エアフィルタ	△123	84	208	—		
営業利益率	7.1%	6.6%	△0.5Pt			
経常利益	1,317	915	△402	△30.5%		
経常利益率	7.0%	4.9%	△2.1Pt			
当期純利益	47	645	598	1,270.5%		
当期純利益率	0.3%	3.5%	3.2Pt			
為替レート (円) (期中平均値)	USD	112.4	135.5	23.1	20.5%	
	EUR	130.6	141.0	10.4	8.0%	

※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

※3 2022/3期の営業利益については、全社費用として別掲していた本社及び子会社の管理部門の一般管理費等の費用について、各セグメントの営業利益に含めております。

	2022/3期 実績	2023/3期 実績	前期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	14,169	14,328	159	1.1%
ライン品	5,633	5,911	278	4.9%
補給品	8,536	8,417	△119	△1.4%
産業用フィルタ※	1,174	749	△425	△36.2%
プロセス用フィルタ	900	867	△32	△3.6%
建機用フィルタ 合計	16,244	15,945	△298	△1.8%
エアフィルタ	2,577	2,659	82	3.2%
売上高合計	18,821	18,605	△216	△1.1%

※ ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から産業用フィルタの製品群に含めて開示しております。

	2022/3期 実績		2023/3期 実績		前期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※1※2	16,244	86.3%	15,945	85.7%	△298	△1.8%
国内	7,951	42.2%	7,980	42.9%	29	0.4%
北米	2,939	15.6%	3,150	16.9%	211	7.2%
中国	1,711	9.1%	1,380	7.4%	△330	△19.3%
アジア	1,884	10.0%	1,698	9.1%	△186	△9.9%
欧州	1,755	9.3%	1,729	9.3%	△26	△1.5%
その他（中東他）	2	0.0%	6	0.0%	4	175.5%
エアフィルタ（国内）	2,577	13.7%	2,659	14.3%	82	3.2%
売上高合計	18,821	100.0%	18,605	100.0%	△216	△1.1%

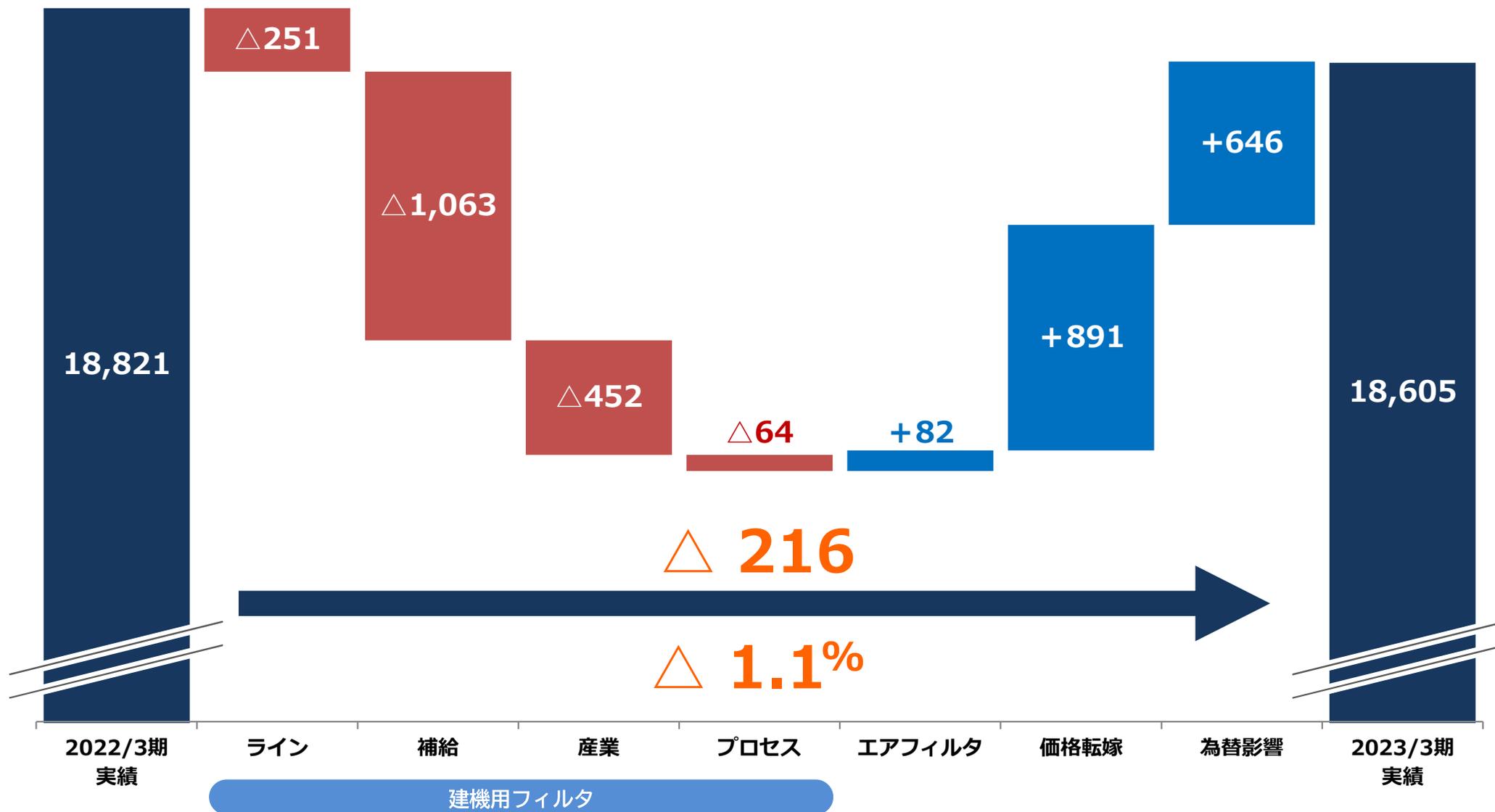
※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2023/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

売上高の増減要因 (2022/4-2023/3)

(単位：百万円)



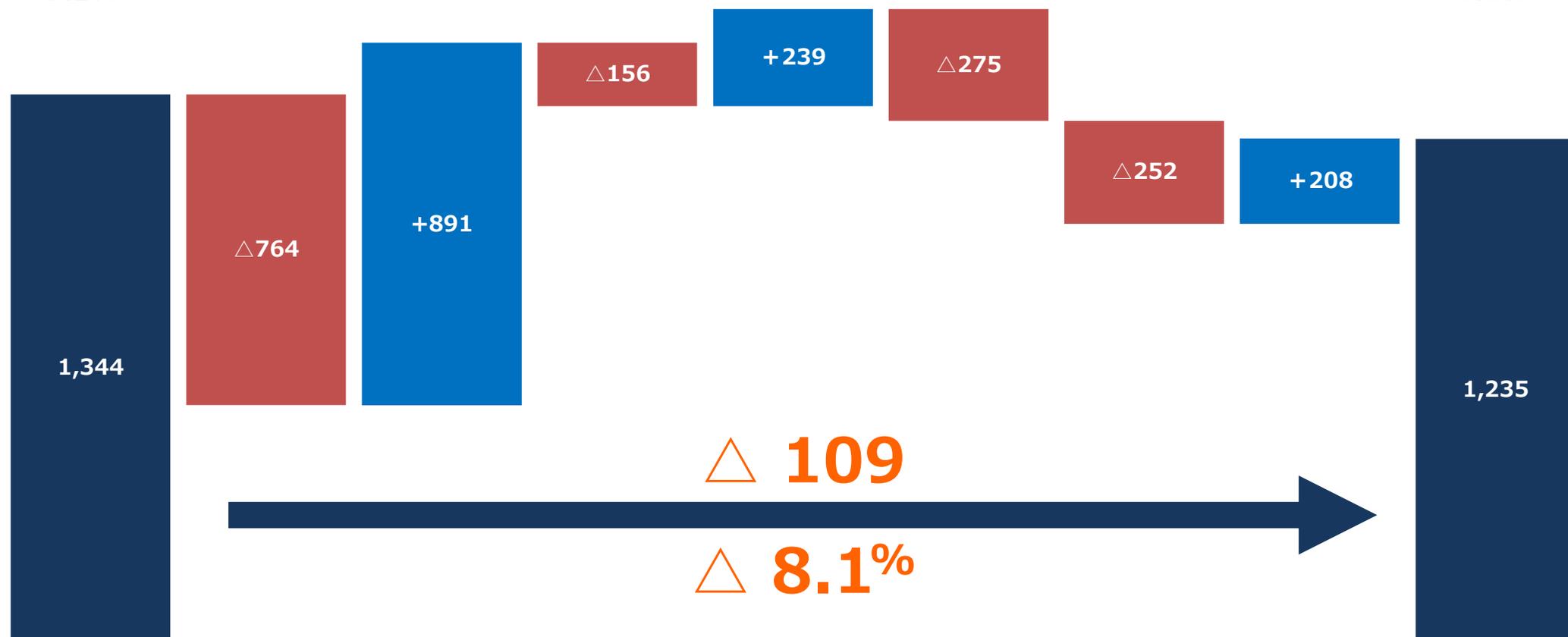
* 「産業」には、ヘルスケア製品群を含めております。

営業利益の増減要因 (2022/4-2023/3)

(単位：百万円)

営業利益率
7.1%

営業利益率
6.6%



営業利益
2022/3期
実績

[建機]
販売数量減少
に伴う減益

[建機]
価格転嫁
に伴う増益

[建機]
海上輸送費増加
に伴う減益

[建機]
航空運賃減少
に伴う増益

[建機]
材料費高騰
に伴う減益

[建機]
為替影響
に伴う減益

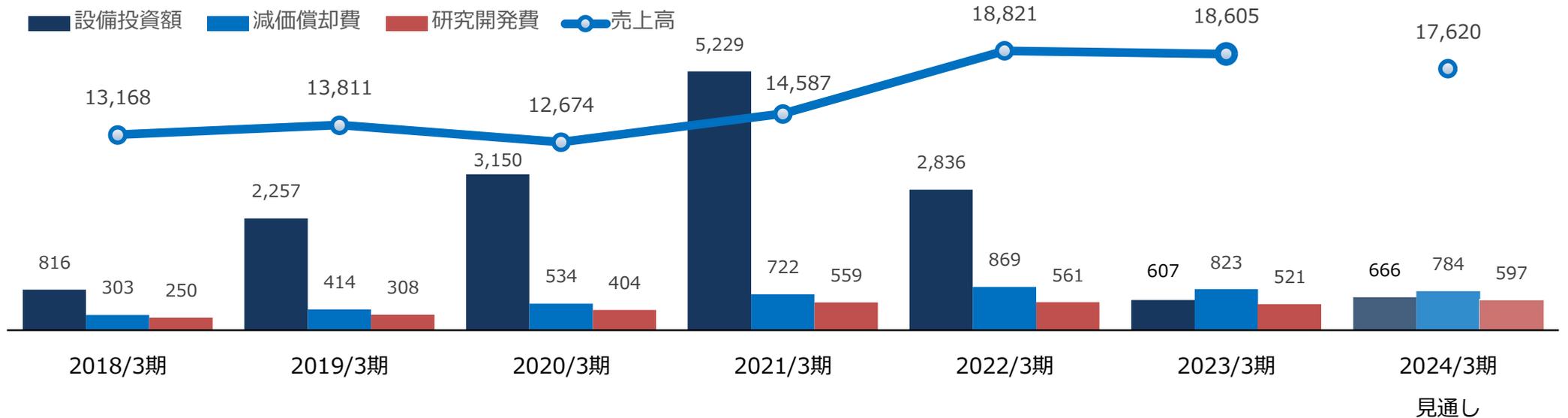
[エアフィルタ]
価格転嫁及び
原価改善
に伴う増益

営業利益
2023/3期
実績

設備投資額、減価償却費及び研究開発費推移

単位 百万円	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 見通し
売上高	13,168	13,811	12,674	14,587	18,821	18,605	17,620
設備投資額	816	2,257	3,150	5,229	2,836	607	666
土地・建物	—	1,588	2,682	3,194	1,488	34	24
その他設備投資	816	669	468	2,036	1,347	573	642
売上高比率	6.2%	16.3%	24.9%	35.9%	15.1%	3.3%	3.8%
減価償却費	303	414	534	722	869	823	784
売上高比率	2.3%	3.0%	4.2%	5.0%	4.6%	4.4%	4.5%
研究開発費	250	308	404	559	561	521	597
売上高比率	1.9%	2.2%	3.2%	3.8%	3.0%	2.8%	3.4%

売上高及び設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



～2023年3月期

2024年3月期

生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

PAC22

Promptly
迅速

Activated
かつ効果的な

Cost reduction
コスト削減計画

20**22**

削減目標・実績金額

単位：百万円

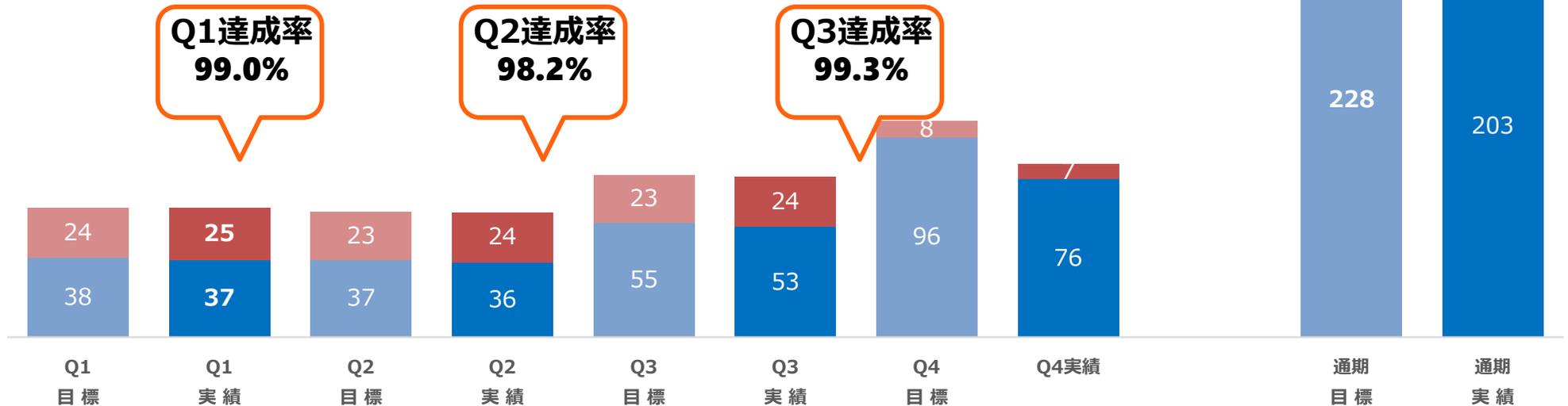
		Q1 目標	Q1 実績	Q2 目標	Q2 実績	Q3 目標	Q3 実績	Q4 目標	Q4 実績	通期 目標	通期 実績
PAC22	製造原価	38	37	37	36	55	53	96	76	228	203
	販管費	24	25	23	24	23	24	8	7	80	82
合計		63	62	61	60	79	78	104	84	308	286

通期達成率
92.8%

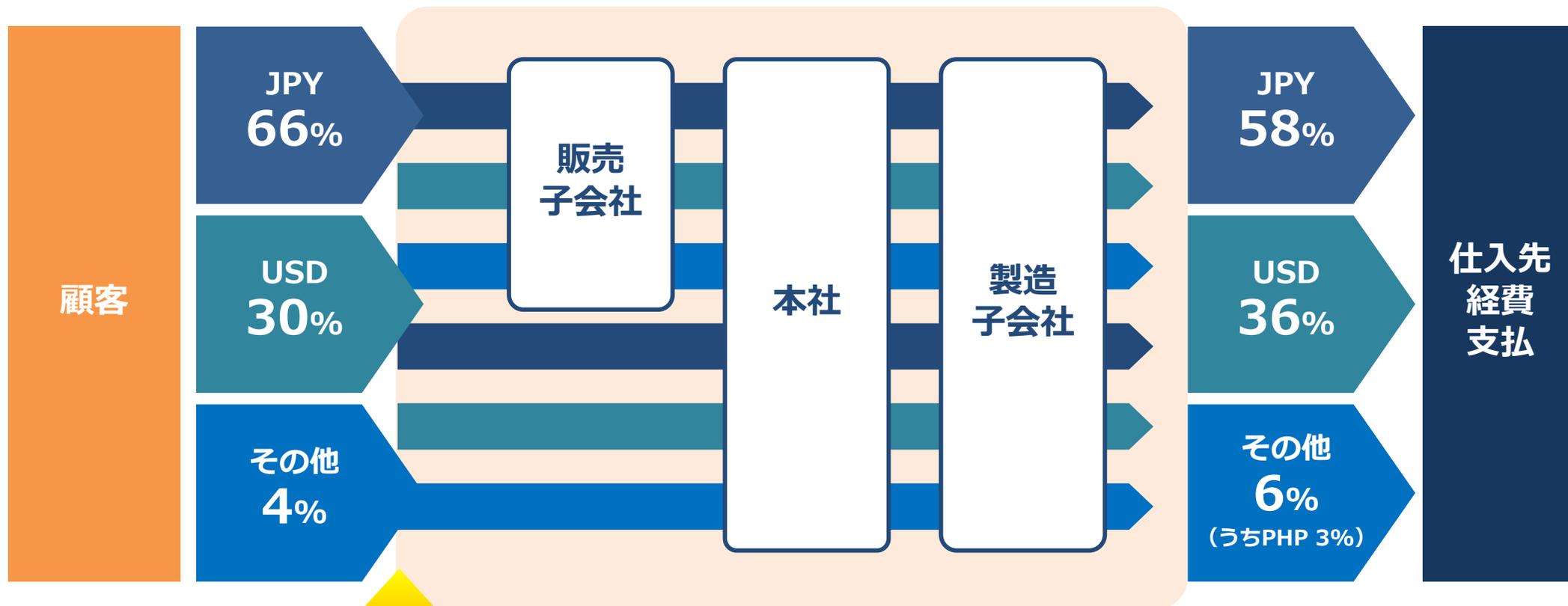
進捗状況

■ 製造原価 ■ 販管費

(単位：百万円)



円安進行により約252百万円の営業利益へのマイナス影響



取引通貨の7割はJPY

- 為替が1円円安になった場合の営業利益影響額は約10百万円減益
- 決済通貨見直しによる為替マリー強化を図る

管理部門にとどまらず、現場にまで企業価値向上の目標数値を落とし込む

MAVY'Sとは (ROIC - WACC)

Maximizing
Added
Value of
Yamashin Filter
Spread

投下資本の利潤最大化を目指し、
各責任部署が (KPI) を設定し
業務に取り組む (KSF) ための
最重要指標 (KGI)

MAVY's
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を
割り振り、各KPIを設定して
目標達成に向けた業務運営を
全社にて行う

MAVY'sの全体像と責任部署 (2023/3期)

Key Goal Indicator (KGI)

※KPI算定の前提

Prv : 2022/3期 年間実績値
Cur : 2023/3期 年間実績値

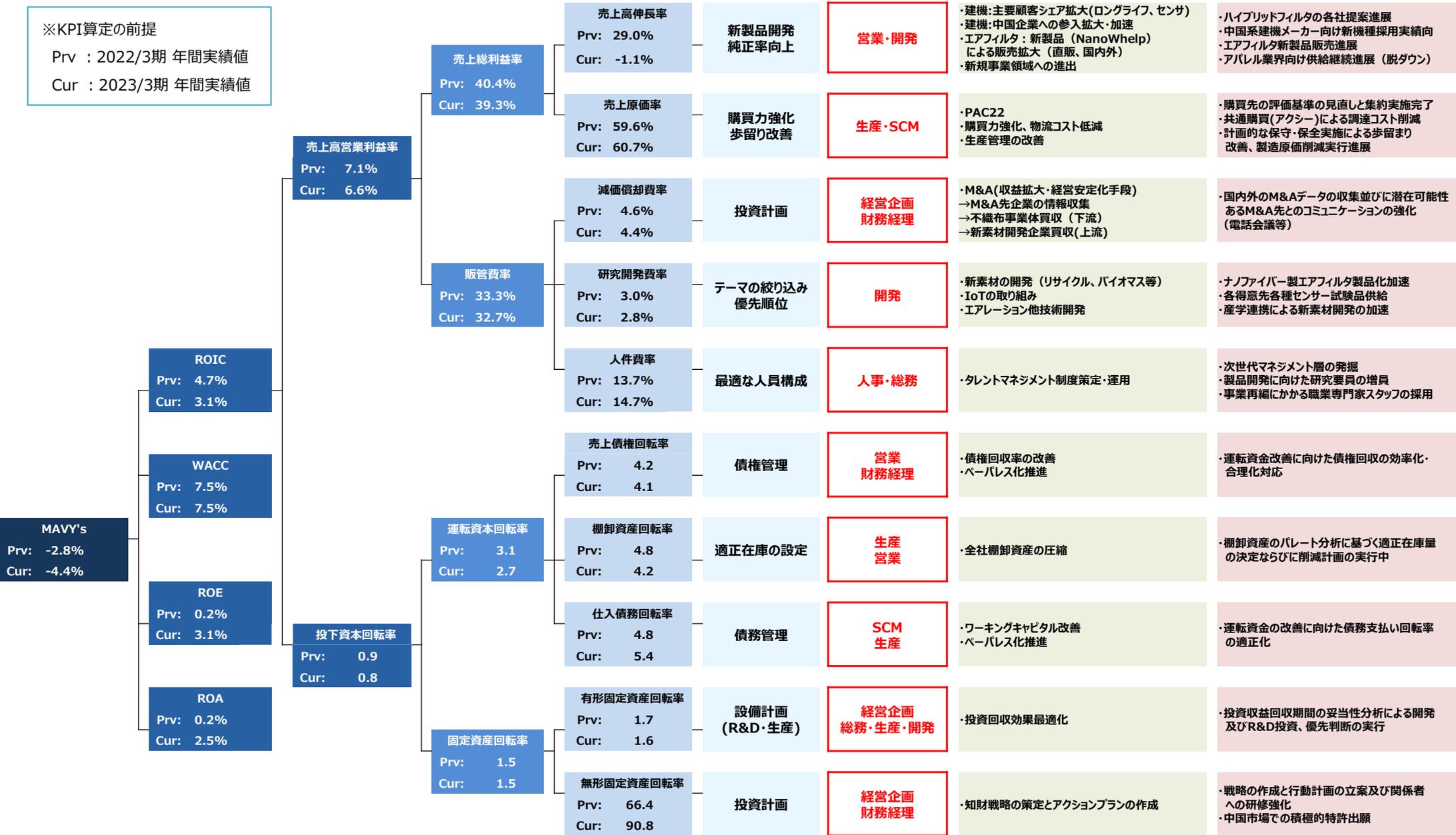
Key Performance Indicator (KPI)

Key Success Factor (CFS)

責任部署

23.3期部門目標 (action plan)

23.3期進捗



2024年3月期 通期業績見通し

建機用フィルタ事業

- 中国市場は引き続き市況が低迷、各市場における建設機械市場の需要は前年を若干下回る水準で推移
- アルミや鋼材を中心とした主要原材料価格の高騰の継続、人的資本への投資の一環として給与水準の引き上げ実施による固定費増加
- 更なる価格転嫁の実行、設計開発段階での原価低減、原材料コストの削減、製造プロセスの改善、品質管理の更なる強化を進めることによりコスト削減を図る

エアフィルタ事業

- 既存製品の交換需要の回復及び、ナノファイバー製エアフィルタをはじめとした高付加価値製品の展開により、オフィスビルや商業施設、工場等への採用に向けた取り組み進展
- 価格転嫁継続に加え、生産効率の改善を軸とした原価低減活動による収益性改善を見込む

		2022/3期	2023/3期	2024/3期	前期比 (百万円)
		実績 (百万円)	実績 (百万円)	見通し (百万円)	
売上高		18,821	18,605	17,620	△985
	建機用フィルタ※1.2	16,244	15,945	14,820	△1,125
	エアフィルタ	2,577	2,659	2,800	140
営業利益		1,344	1,235	600	△635
	建機用フィルタ※3	1,467	1,150	510	△640
	エアフィルタ※3	△123	84	90	5
営業利益率		7.1%	6.6%	3.4%	△3.2Pt
経常利益		1,317	915	650	△265
経常利益率		7.0%	4.9%	3.7%	△1.2Pt
当期純利益		47	645	450	△195
当期純利益率		0.3%	3.5%	2.6%	△0.9Pt
為替レート (円)	USD	112.4	135.5	130.0	△4.0%
	EUR	130.6	141.0	140.0	△0.7%

※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

※3 2022/3期の営業利益については、全社費用として別掲していた本社及び子会社の管理部門の一般管理費等の費用について、各セグメントの営業利益に含めております。

	2022/3期 実績		2023/3期 実績		2024/3期 見通し		前期比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ	14,169	75.3%	14,328	77.0%	13,304	75.5%	△1,024	△7.2%
ライン品	5,633	29.9%	5,911	31.8%	6,190	35.1%	278	4.7%
補給品	8,536	45.4%	8,417	45.2%	7,114	40.4%	△1,303	△15.5%
産業用フィルタ*	1,174	6.2%	749	4.0%	703	4.0%	△45	△6.1%
プロセス用フィルタ	900	4.8%	867	4.7%	812	4.6%	△55	△6.4%
建機用フィルタ 合計	16,244	86.3%	15,945	85.7%	14,820	84.1%	△1,125	△7.1%
エアフィルタ	2,577	13.7%	2,659	14.3%	2,800	15.9%	140	5.3%
売上高合計	18,821	100.0%	18,605	100.0%	17,620	100.0%	△985	△5.3%

※ ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、産業用フィルタの製品群に含めて開示しております。

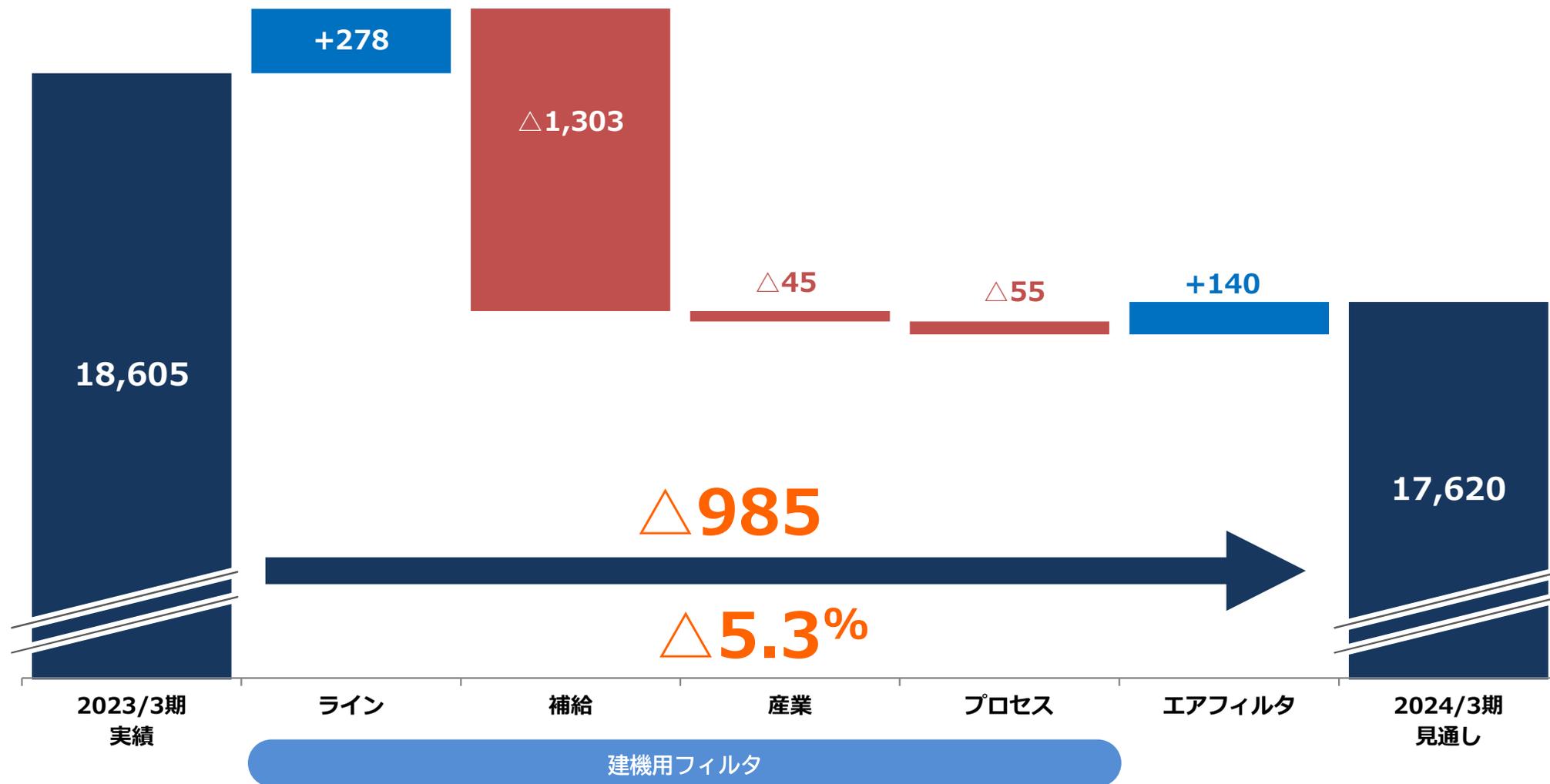
	2022/3期 実績		2023/3期 実績		2024/3期 見通し		前期比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ^{※1※2}	16,244	86.3%	15,945	85.7%	14,820	84.1%	△1,125	△7.1%
国内	7,946	42.2%	7,980	42.9%	6,932	39.3%	△1,047	△13.1%
北米	2,939	15.6%	3,150	16.9%	3,172	18.0%	22	0.7%
中国	1,711	9.1%	1,380	7.4%	1,252	7.1%	△128	△9.3%
アジア	1,889	10.0%	1,698	9.1%	1,617	9.2%	△80	△4.7%
欧州	1,755	9.3%	1,729	9.3%	1,700	9.7%	△28	△1.7%
その他 (中東他)	2	0.0%	6	0.0%	143	0.8%	137	2,105.1%
エアフィルタ (国内)	2,577	13.7%	2,659	14.3%	2,800	15.9%	140	5.3%
売上高合計	18,821	100.0%	18,605	100.0%	17,620	100.0%	△985	△5.3%

※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

(単位：百万円)

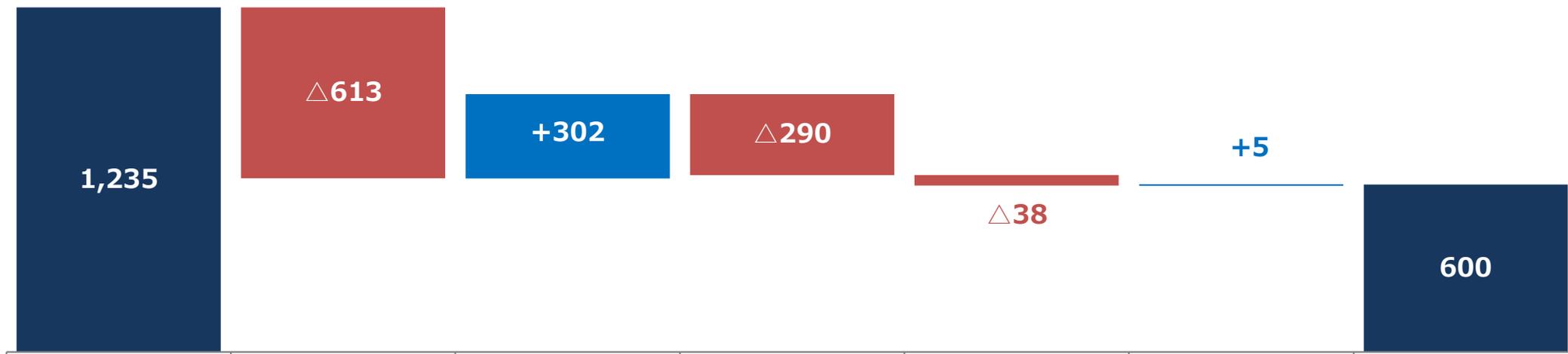


* 「産業」には、ヘルスケア製品群を含めております。

(単位：百万円)

営業利益率
6.6%

営業利益率
3.4%



△635
△51.4%

営業利益
2023/3期
実績

[建機]
販売数量減少他

[建機]
海上輸送費減少
に伴う増益

[建機]
人件費増加
に伴う減益

[建機]
旅費その他経費増加
に伴う減益

[エアフィルタ]
販売増加及び
原価改善

営業利益
2024/3期
見通し

中間配当3.0円、期末配当3.0円の年間6.0円

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期 見通し
1株当たり 年間配当金	6.0円	6.0円	6.0円	6.0円
DOE^{※1}	2.2%	2.1%	2.1%	2.1%
総還元性向^{※2}	59.3%	960.4%	75.6%	108.4%

※1 DOE（株主資本配当率） = (年間配当総額 ÷ 株主資本) × 100 = (ROE × 配当性向)

※2 総還元性向 = {(配当金総額 + 株主優待 + 自己株式取得) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益} × 100

環境

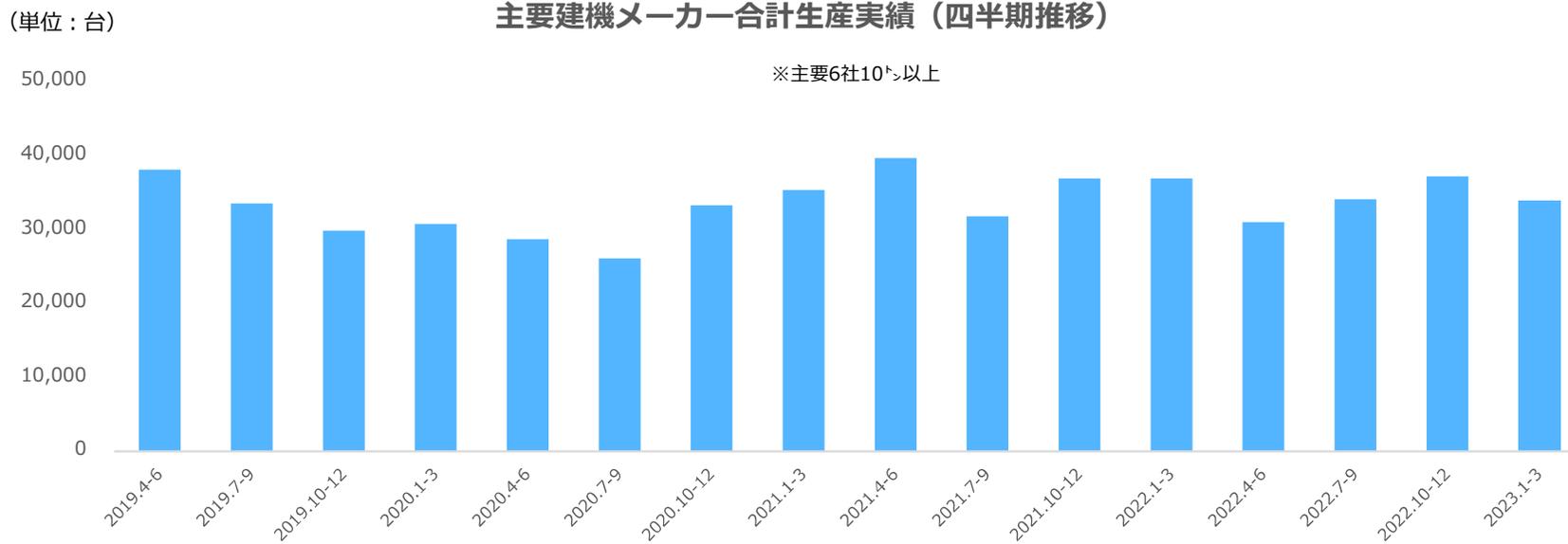
Ⅱ 市場を取り巻く環境

“建機市場を取り巻く環境”

- 需要を牽引してきた北米市場は堅調を維持してきたが、今後は不透明な状況
- 東南アジア市場は高水準の資源価格が継続して、需要は堅調を維持
- 中国市場は不動産投資の冷え込みから、需要低迷が今年も継続する見通し

	2023/3 Q3	2023/3 Q4	今後の見通し
日本	物流コスト・原材料価格高騰の影響、円安傾向が継続しつつも建機の需要は堅調	物流コスト・原材料価格高騰の影響、円安傾向が継続しつつも建機の需要は堅調	エネルギー・原材料価格や物流コストの高騰により建機の需要は軟調
北米	建機稼働時間と新車需要は減少傾向ながら堅調に推移 物流コスト・原材料価格高騰が継続	建機稼働時間と新車需要は減少傾向ながら引き続き堅調 物流コスト・原材料価格高騰が継続	主要原材料価格高騰の影響が継続 建機稼働時間と新車需要は減少傾向
欧州	物流コストや原材料価格高騰の影響が継続しつつも減少傾向ながら堅調に推移	物流コストや原材料価格高騰の影響が継続しつつも減少傾向ながら堅調に推移	ロシア、ウクライナ情勢の深刻化により需要減の見通し 主要原材料価格高騰の影響が継続
アジア	インド、インドネシア中心に需要は堅調。物流コストや原材料価格高騰の影響が継続	インド、インドネシア中心に需要は堅調。物流コストや原材料価格高騰の影響が継続	景気減速が予想され需要は軟調 主要原材料価格高騰の影響が継続
中国	市況の低迷継続により新車の販売台数は前年度を下回る見通し	経済低迷により新車の販売台数は前年度を大きく下回る	経済の低迷により新車の販売台数は前年度を下回る見通し

- 生産計画台数・受注水準は堅調維持しているが、不透明感あるため今後の動向に注視



**新車需要は
堅調維持**

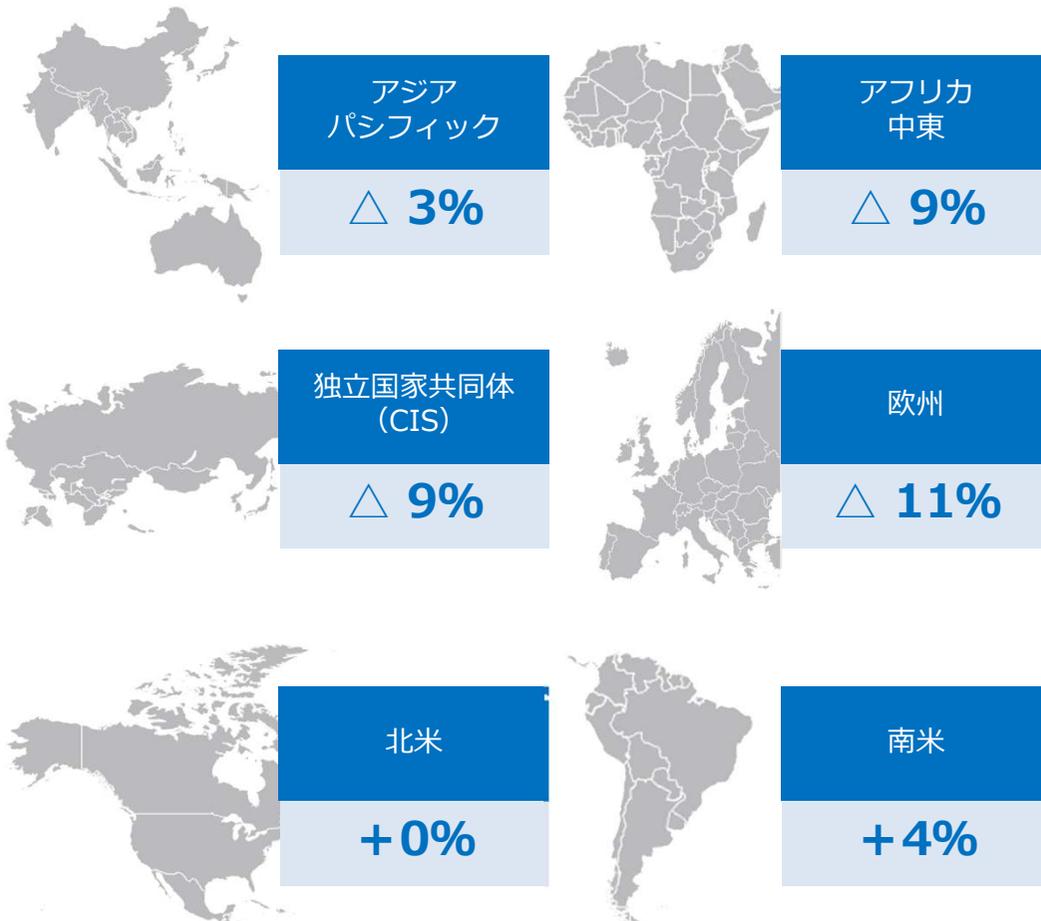
当社の建機用フィルタ売上高と確定受注残高内示受注残高（四半期推移）



**大きな変化点なく
高い受注水準を維持**

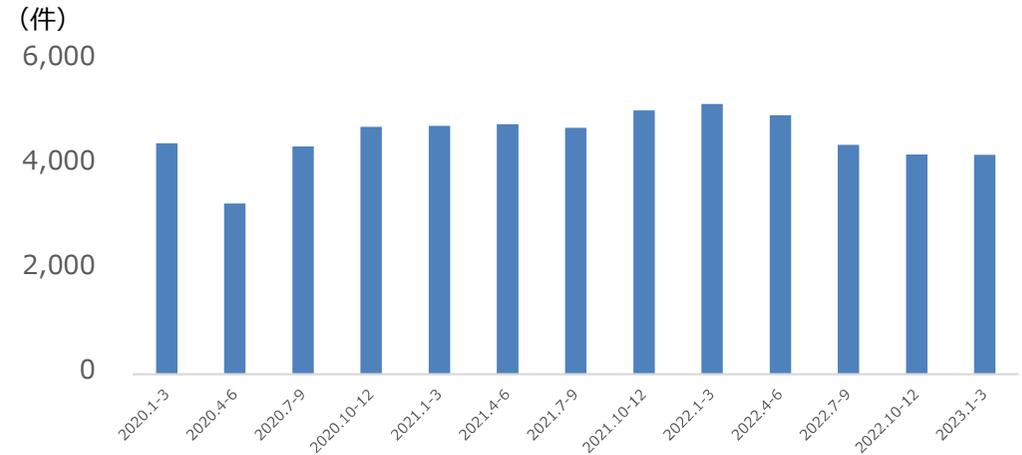
- インフレ継続などの影響から、各地域の需要動向は減速局面に向かっている模様
- 北米市場は住宅着工件数は同水準で推移するも、住宅在庫は最低レベルにある

地域別 建機需要の動向（指数）



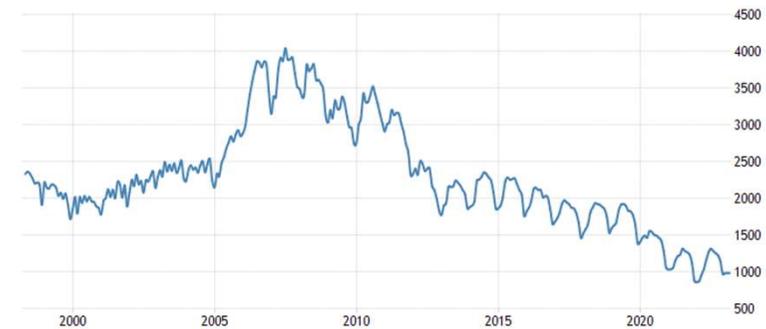
デマンド動向指数（22年対23年予想）

北米市場 住宅着工件数の推移



(Bureau of the Censusより当社作成)

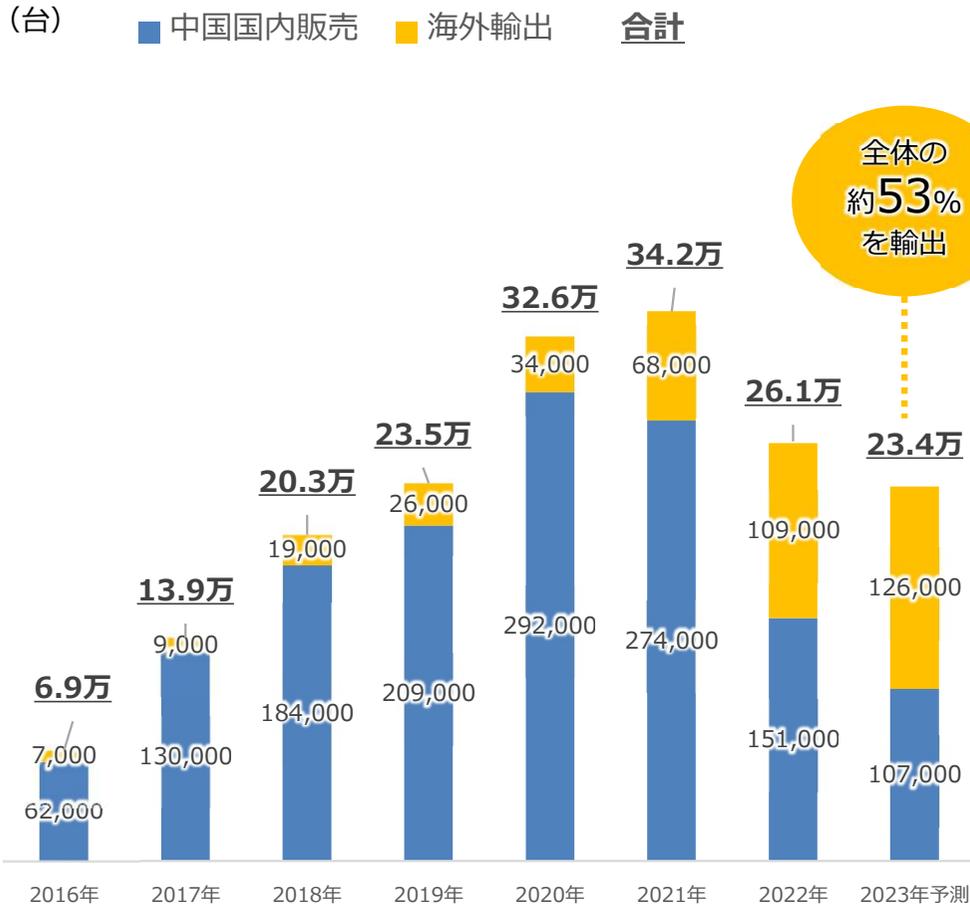
北米市場 総住宅在庫の推移



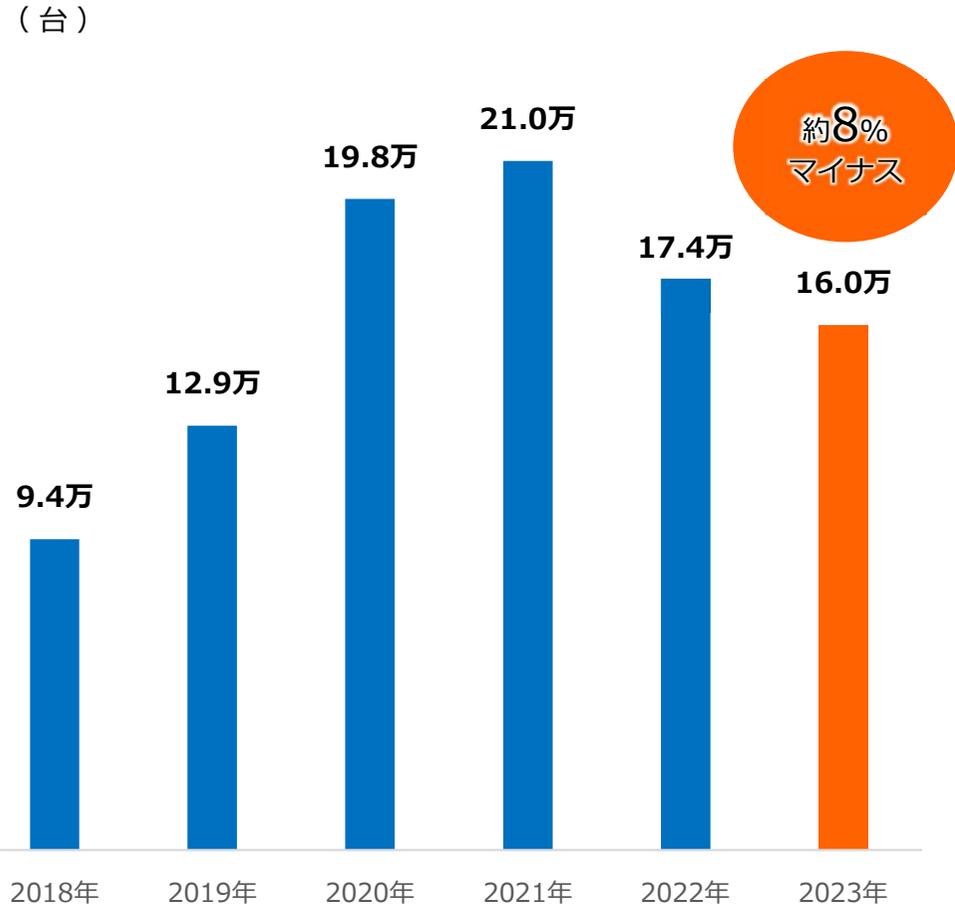
(TRADINGECONOMICSより引用)

- コロナ政策転換後も、不動産市場低迷の影響で需要は低調に推移する見通し
- 東南アジア市場は需要旺盛なため、輸出比率は今期も更に高まる予想

中国年間販売台数推移



主要中国建機メーカー5社生産台数（計画）



- 北米大手顧客のシェアは計画通り伸長しており、今後は戦略製品の拡充に移行を見込む
- コロナ渦でも中国客先の採用実績は計画シェアを達成するも、排ガス規制機種で苦戦

北米大手建機メーカー様のシェア情報

■ 油圧フィルタシェア

	2021	2022	2023	21年と23年の増減比較
車両建機	39%	50%	52%	+ 13%
鉱山建機	20%	37%	40%	+ 20%
林業機械	30%	45%	46%	+ 16%

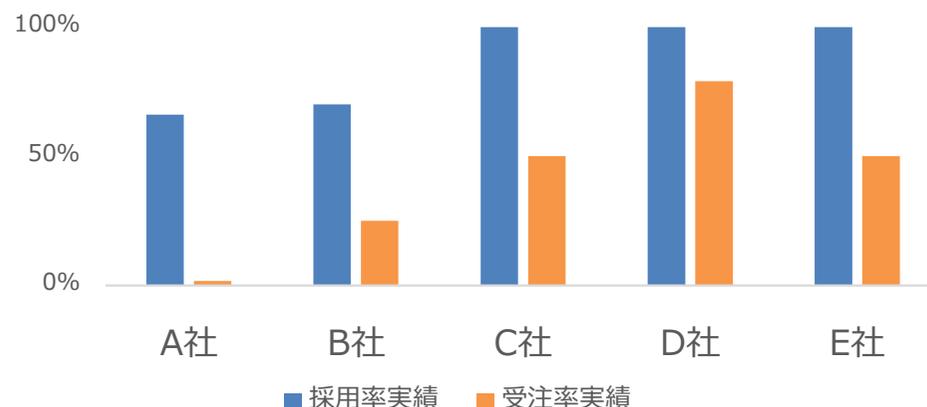
■ TMフィルタシェア

	2021	2022	2023	21年と23年の増減比較
車両建機	88%	94%	95%	+ 7%
鉱山建機	54%	68%	71%	+ 17%
林業機械	71%	75%	75%	+ 4%

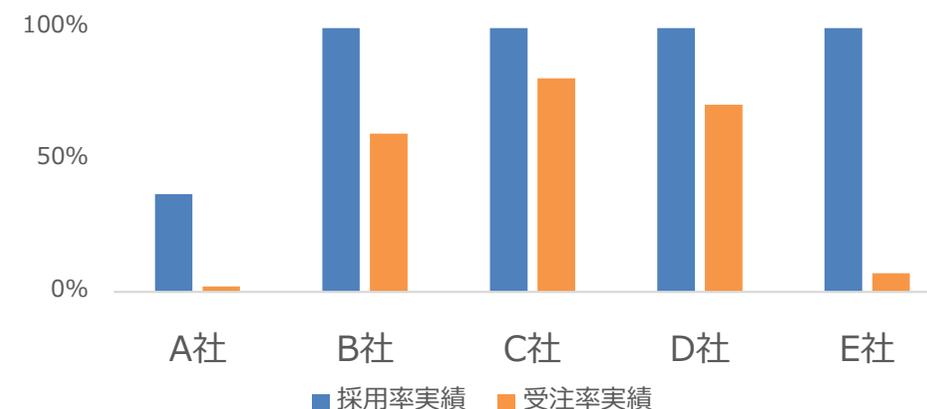
■ その他フィルタシェア

	2021	2022	2023	21年と23年の増減比較
車両建機	17%	40%	42%	+ 25%
鉱山建機	12%	33%	36%	+ 24%
林業機械	15%	20%	27%	+ 12%

中国 現行モデルの採用状況（主要製品）



中国 新規モデルの採用状況（主要製品）



- 市場台数で規模が出るまでに時間はかかるが、導入実績・計画は順調に推移
- 特定の建機だけでなく、フルラインナップで同時進行的に検討が進んでいる状況

多様なラインナップ

ホイールローダー



油圧ショベル



ダンプトラック



超大型機械

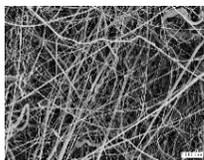


ブルドーザー



ロングライフ化に貢献する新規モデル

ヤマシンナノフィルタ®



売上単価は既存製品の
約2倍
ロングライフ化に貢献



採用が予定されている主なフィルタ

リターンフィルタ



アタッチメント フィルタ



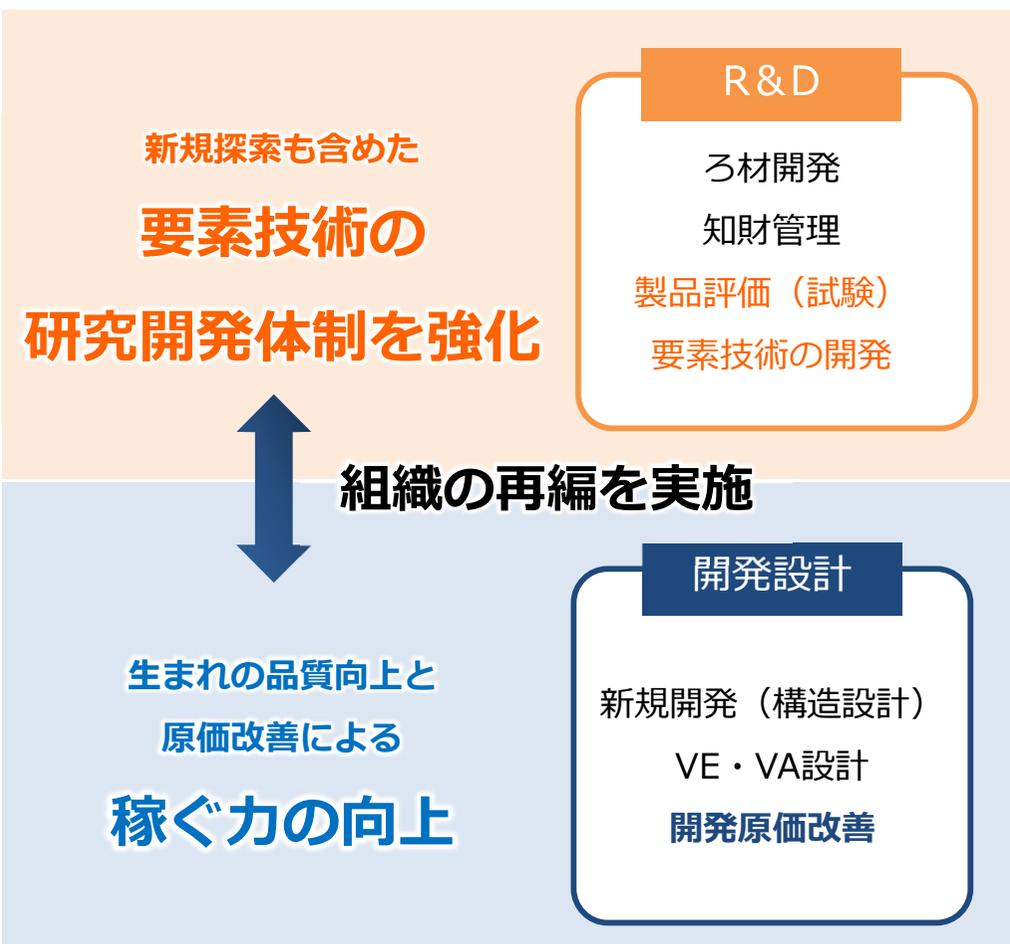
TMフィルタ



様々な機種で
導入実績・計画
は順調に推移

- 価格転嫁だけでなく、当社独自の稼ぎ出すチカラの強化も継続して強化
- 開発部門では、原価品質を更に向上させるために組織の再編も実行
- 生産部門はベトナム工場の活用によるサプライチェーンのローカライズ化がテーマ

開発組織の再編 (機能の分離)

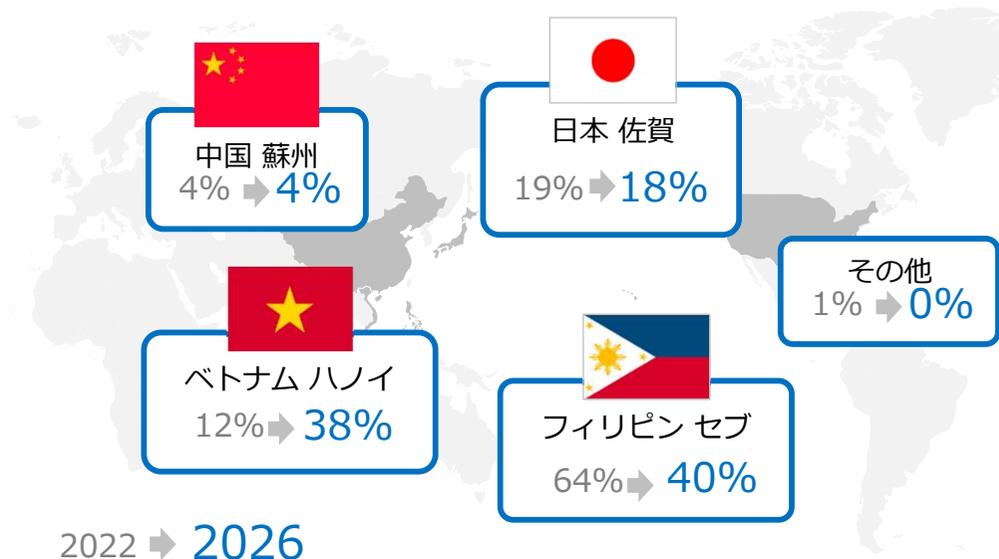


サプライチェーンの最適化

地政学リスクを鑑みた「ローカライズ化」

グローバル生産体制の再編

部品調達価格で優位性のあるベトナムに生産をシフト
量産工場をセブ、ベトナムの2拠点体制としてBCP構築

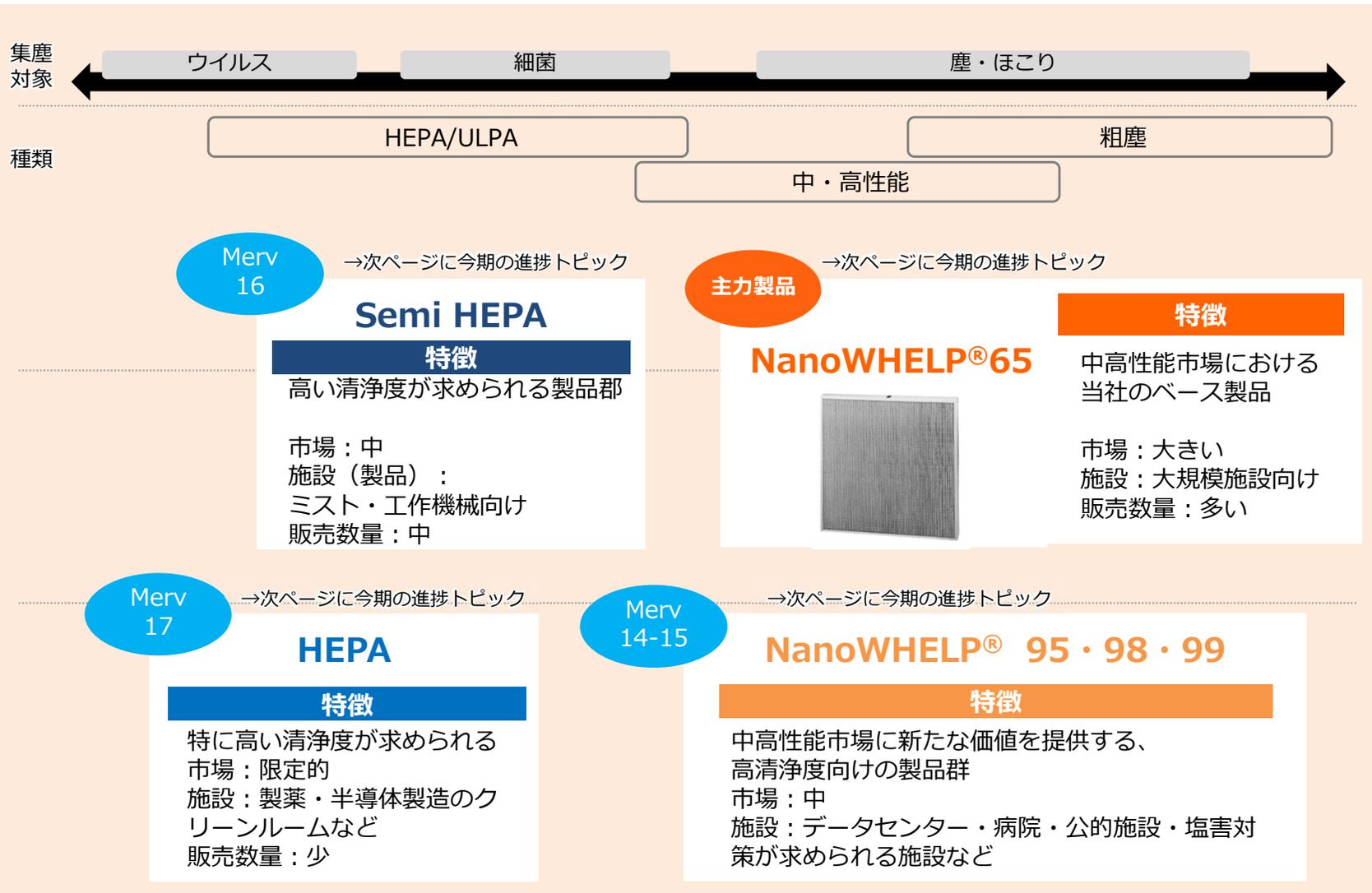


“エアフィルタ市場を取り巻く環境”

- 各セグメントで安定した需要環境にあるが、価格転嫁の影響を除くと前年とほぼ同水準
- ビル建物ではオフィスなどリピート需要の回復が計画通りにスタート

	市場概要	市場環境	
		前期	今期見通し
ビル・建物	オフィス・商業ビル等に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	都市部の大型案件を中心に需要は回復基調。新規案件は低調	都市部のリピート案件は堅調。地方の買い控え傾向はあるが影響は軽微。
一般工場	工場に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	前期と傾向は継続する予想。	大規模案件に回復の兆しがあり。設備投資の引き合いも増加傾向。
半導体工場	ケミカルフィルタの交換市場	引き続き設備投資が好調に推移。	引き続き、設備投資が好調も、工期の順延などで安定せず。
環境機器	一般家庭で使われる住宅空調・空気清浄機のエアフィルタ	住宅資材の流通減により、着工件数が下降トレンドのものの需要は存在。	住宅着工件数の下降は落ち着き回復傾向。
車両	鉄道等の空調用エアフィルタ 建機の粉塵用エアフィルタ	公共交通機関の交換需要が伸び悩むものの、需要の高まっている建機が好調。	コロナ渦も落ち着き公共交通機関の交換需要が回復傾向。建機（コベルコ）は通年で堅調見込み。

- 独自開発のナノファイバーろ材を用いたNanoWHELP®のラインナップ拡充が進展
- 高機能要求に対して全方位でニーズを捉えて、市場実績を積み上げる



YAMASHIN Nano Filter™

独自開発素材である
ヤマシン・ナノフィルタ®を
起点に各製品群に展開

- 消耗が激しいオイルミスト用途で従来品の約2倍の長寿命化を達成
- 塩害地域にも耐えうる中性能フィルタとして、大型商業施設での採用を多数獲得
- 高い性能とコストのバランスで他社製品の切替案件を多数受注

HEPA

集塵機メーカーOEM

純正品からの切り替え。
コストが同等の他社現行品と
性能比較を長期で実施、性
能・寿命とも優っていると評
価されたため、採用が決定。



Semi HEPA

工作機械メーカー OEM

OEM業界全体がフィルタレス
の傾向がある中で、フィルタ
性能を活かした顧客ニーズに
沿った高精度路線に需要があ
ることを証明。



NanoWHELP® 95・98・99



NanoWHELP®65

複合商業施設 @みなとみらい

前年からの継続で受注。
塩害地域の商業施設のため高
精度フィルタを要望。昨年の
初導入に対しコスト・性能と
もに高い評価を受けている。



精密機器メーカー 開発拠点

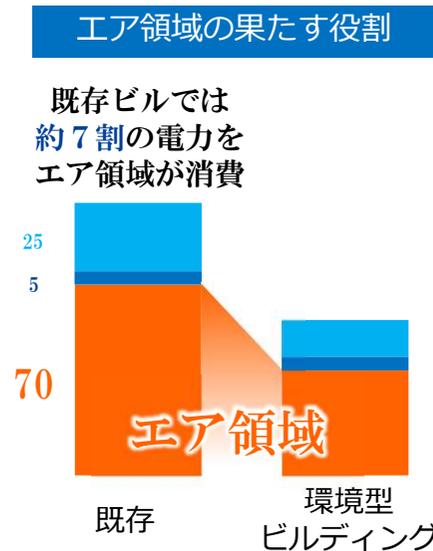
従来品と比較し保塵量が増え、
長期間性能が落ちないこと、
コストとのバランスの良さを
評価され受注を獲得。



- ZEB認証において空調機器の電気削減は割合も大きいので、注目度が高まると推測
- これまでの商流を維持しながら、新たな商流・パートナーにも営業活動を展開中
- 中高性能フィルタ売上高の約10%を構成するまで成長

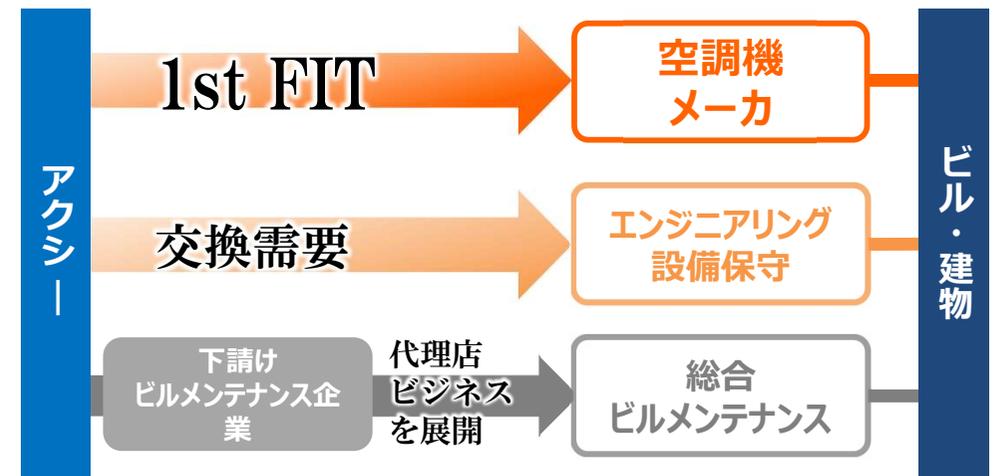
環境型ビルディング（ZEB認証）の登場

従来のエネルギーを消費する建物ではなく、自らエネルギーを創る創エネや省エネを行う建築物を環境省が後押し



ナノウェルプの拡販

自社製品を納入する空調機メーカーや自社で設備管理実務を行いフィルタ購入にメリットがあるエンジニアリング会社への営業活動を強化、営業人員を増やし販体制確立を図る





心

Ⅲ 今後の戦略

本業の稼ぐ力の改善

適正価格化

主要顧客と交渉を継続

- ◆ 昨今の原材料費高騰・急激な円安の影響などを加味し、適正な価格への転嫁を引き続き主要顧客と交渉を実施

原価改善

開発原価の見直し

- ◆ 設計開発段階での原材料、生産プロセスの見直し、部品共通化を実施

バリューチェーンの見直し

- ◆ グローバル生産供給体制構築によるサプライチェーン見直し・コスト低減を実施

事業構造改革

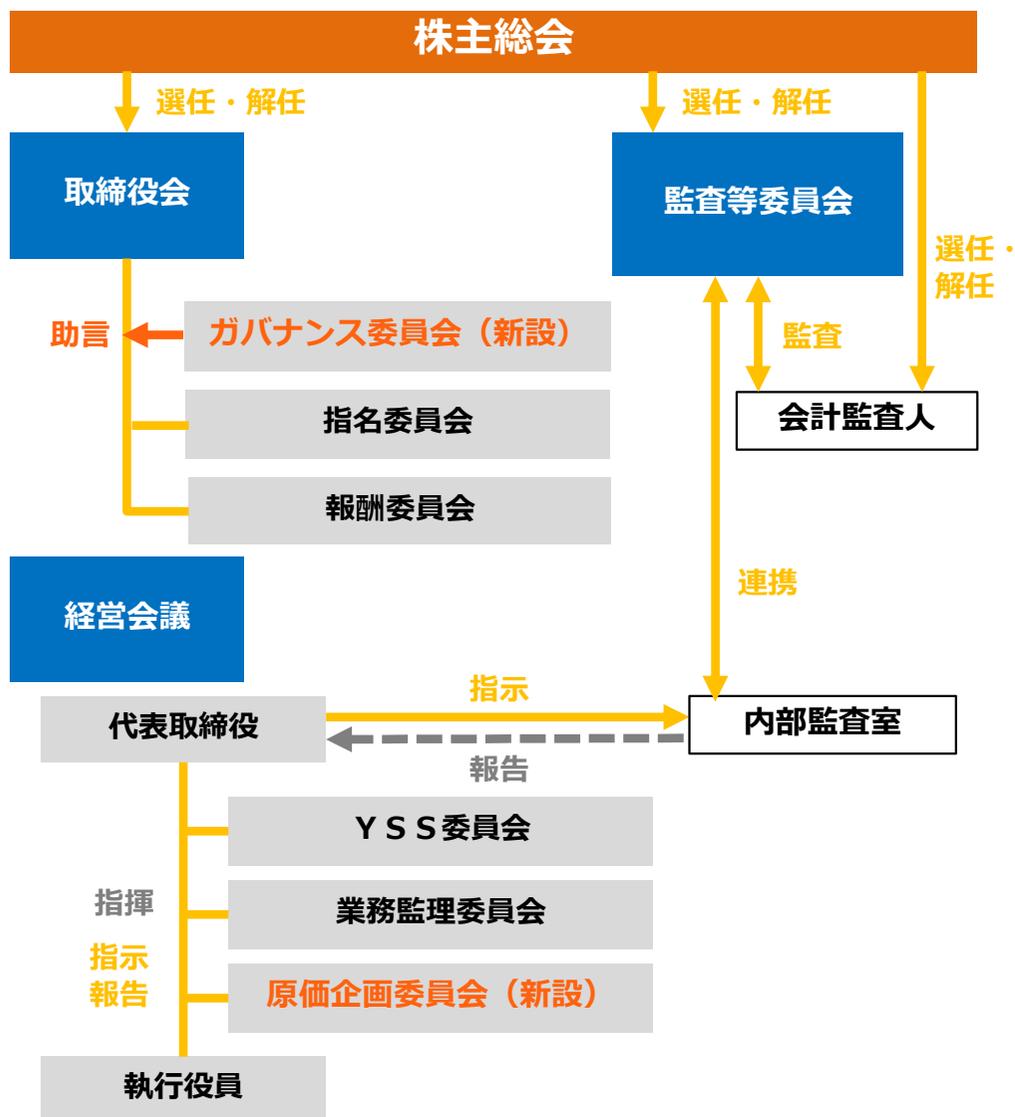
収益管理体制の強化

- ◆ **原価企画委員会（新設）**を設立し、製品および事業収益の管理体制を強化
- ◆ BIツールを導入し原価管理体制を徹底、製品および事業収益の管理体制強化

グループガバナンスの強化

- ◆ **ガバナンス委員会（新設）**を設立し、グループ全体の経営効率化と統制強化を図る

- 昨今の事業環境に対応すべく、経営体制のさらなる強化を実施



グループガバナンスの強化

- ◆グループ全体の経営効率化と統制強化を目的に「業務監理委員会」を設置、グループ会社の業務執行に関するリスクの管理・モニタリングを横断的に実施
- ◆コーポレート・ガバナンスの継続的な充実を図るため、取締役会の経営の監督機能の実効性の評価、取締役会への助言、改善提案等を目的に「ガバナンス委員会」を設置予定

収益管理体制の強化

- ◆グループ全体の収益管理体制の強化を図るために「原価企画委員会」を設置。既存製品の実績のモニタリング、原価低減活動の推進、新製品開発段階から顧客が求める品質や機能を最小限のコストで実現する原価企画、VA「Value Analysis」、VE「Value Engineering」活動等を実施。

● 昨今の事業環境に対応すべく、経営体制のさらなる強化を実施

社外取締役の登用

コンプライアンス・コーポレートガバナンス・人材の多様性などに深い知見と経験を有する、

吉川美代子氏を社外取締役に選任。

これまでの課題

- 建設機械業界に特化した専門性を有した経営体制である反面、男性中心に発展した業界に属する特性上、人材の多様性が欠如。

期待される効果

- 取締役会の意思決定に対する透明性・客観性・多様性を担保し、ガバナンス・コンプライアンス意識を向上
- 新たな価値感による議論の活性化、新たなイノベーションの創出など、中長期的な企業価値向上を目指す

吉川 美代子氏

取締役（社外・独立）
スキルマトリックス

分類	有するスキル
企業経営	○
サステナビリティ・ESG	◎
研究開発・技術	
生産	
営業/販売	○
グローバル	
財務・会計	
人事・労務	○
法務・コンプライアンス	◎

2024年3月期上期に「本業の稼ぐ力の改善」を実施し
基盤を強化したうえで、

2024年3月期下期

成長のための

新たな経営計画の策定を予定

目指すべきこと
サステナブルな社会の実現

取り組むべきテーマ



事業を通じた強みの発揮

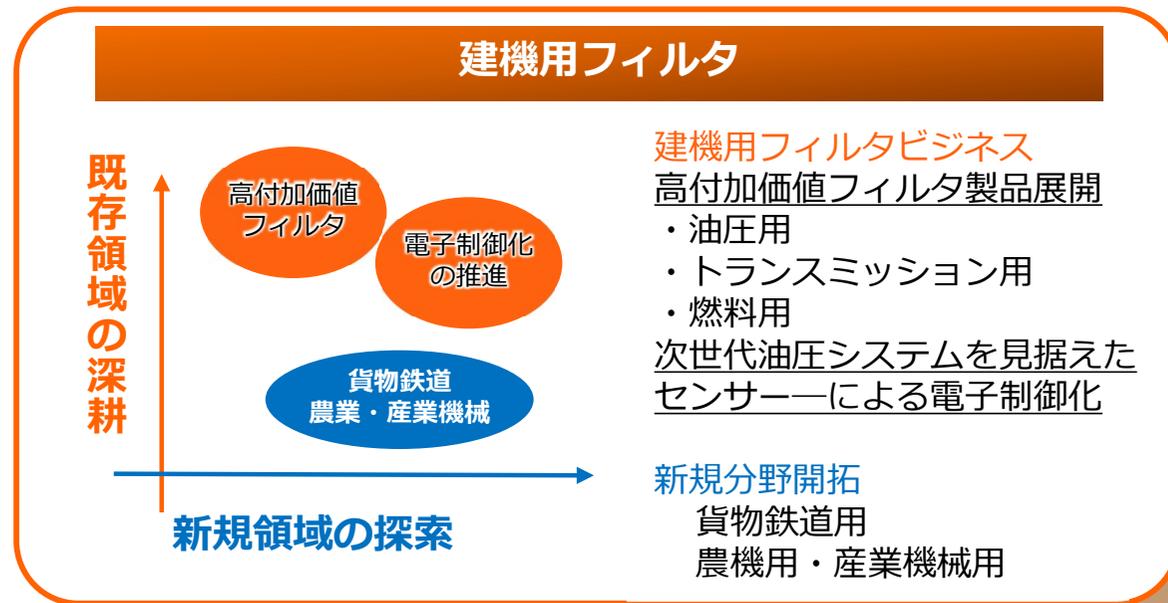
The Specialist in Filtration
YAMASHIN

ESG 経営の実践
モノづくりを極める技術マイスター
イノベーション創出力

建機

エアー

仕濾過事
ろかじにつかふる



濾材開発

ロングライフ/ 環境配慮型素材開発

- 石油由来のPET樹脂
- バイオマスPETろ材開発
- 生分解性素材開発
- リサイクル循環

新規事業領域

YAMASHIN Nano Filter® を応用した新素材領域への進出

YAMASHIN Nano Filter

導電性素材	バイオマス素材
シート素材	新・耐熱素材

M&A

ろ材

エアフィルタ

営業戦略の強化

AQC 株式会社 アキュー

YAMASHIN Nano Filter

代理店ビジネス（多品種/小ロット）

- ・ビル空調用
（プレフィルタ・中高性能フィルタ）
- 直接販売（高潔浄度 HAPA/ULPA）

NanoWHELP®



オフィス



病院



空港



商業施設

目次

参考資料

① 当社基本情報

当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております。また、当社独自に開発した合成高分子系ナノファイバーを用いたオリジナルマスク及び取替用インナーシートの製造・販売を2020年5月より開始しております。

分野	取扱製品	製品イメージ	売上構成 2024年3月期業績見通し
建機用フィルタ	建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 様々な種類の建機		
ヘルスケア	合成高分子系ナノファイバーの特性である高捕集性能、密閉性、通気性を活かした高機能マスク、取替用インナーシート 用途: 国内外の一般消費者向け		
産業用フィルタ	様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械		
プロセス用フィルタ	顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ 用途: 電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界		
エアフィルタ	粗塵、中高機能のエアフィルタ 用途: 一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等		

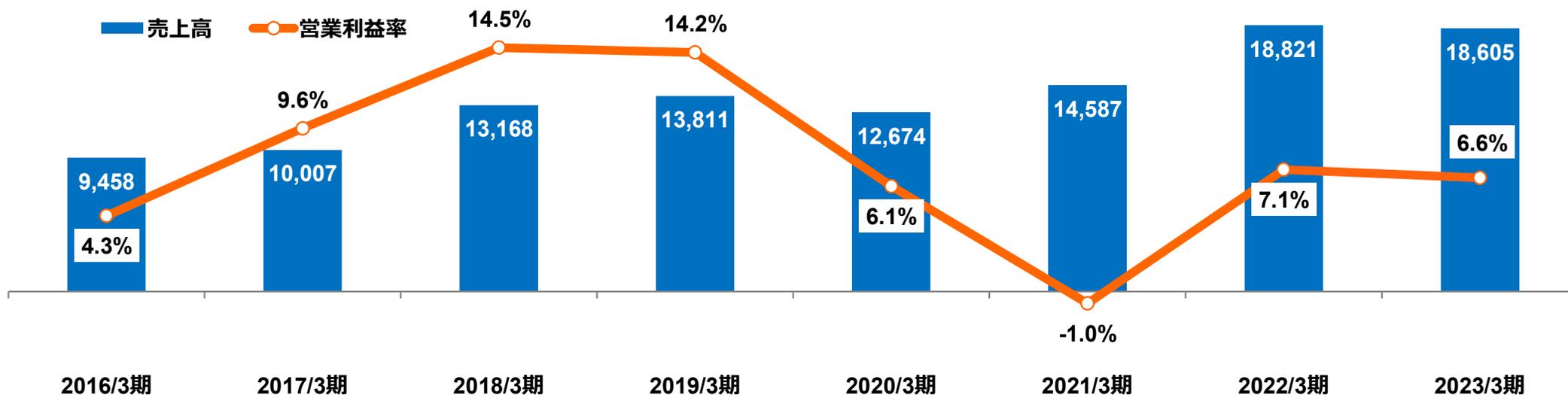
決算

参考資料

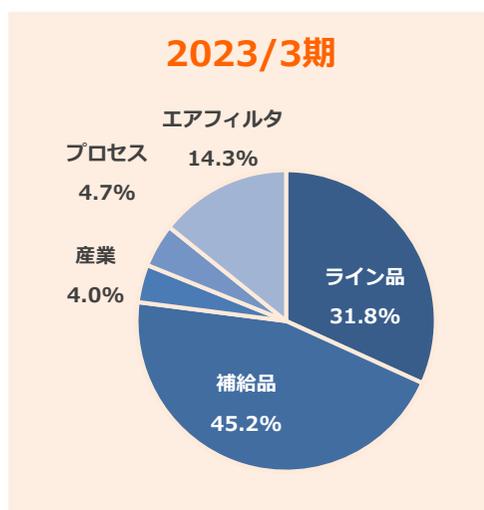
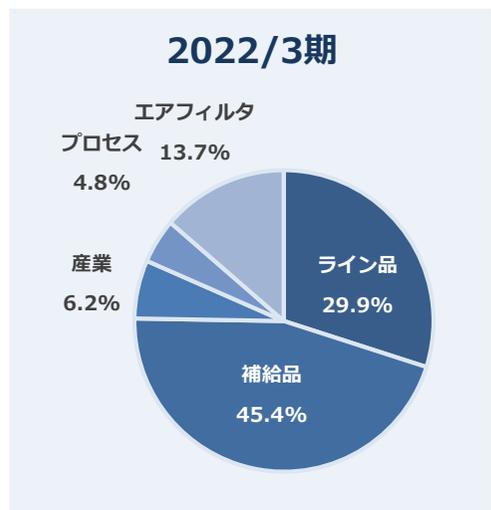
②財務ハイライト

売上高・営業利益率推移

(単位：百万円)



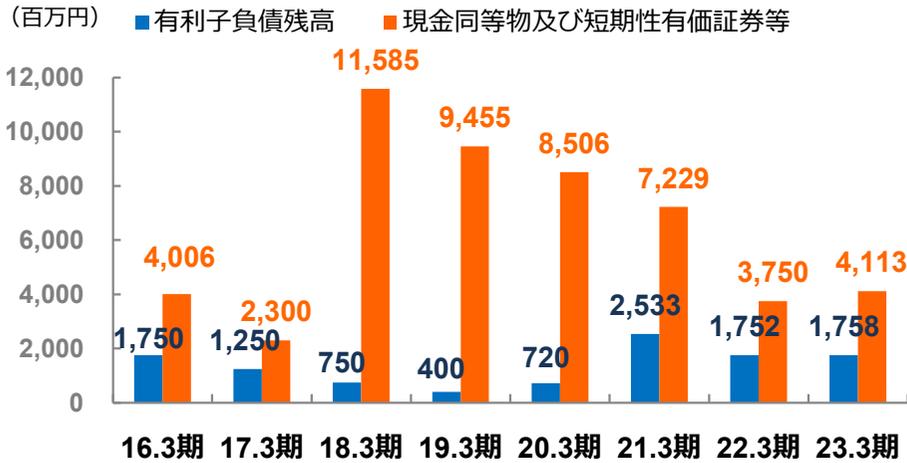
製品別売上高



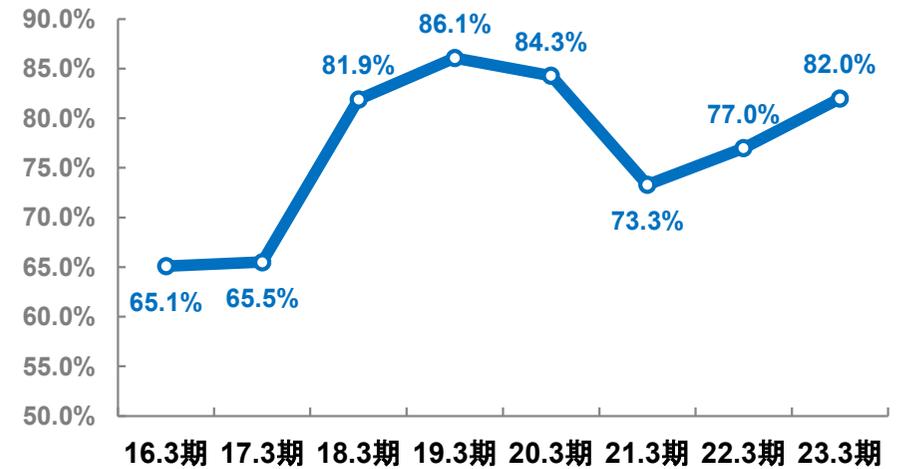
地域別売上高



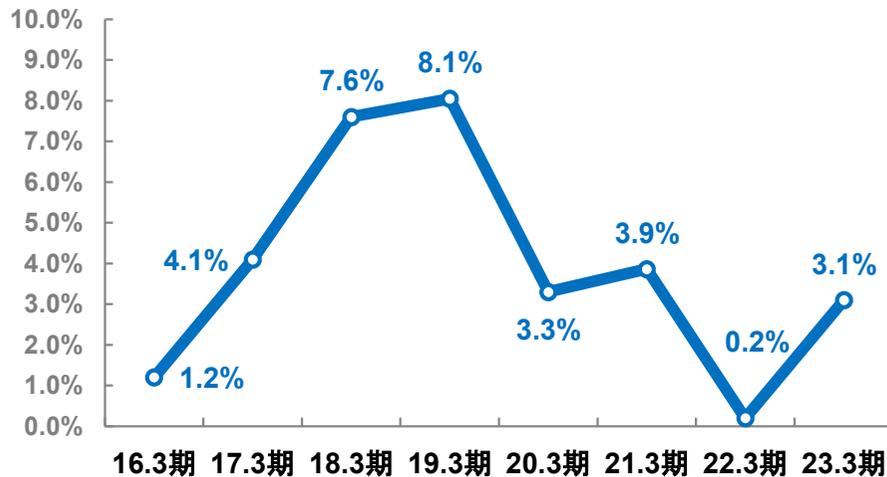
有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高



株主資本比率

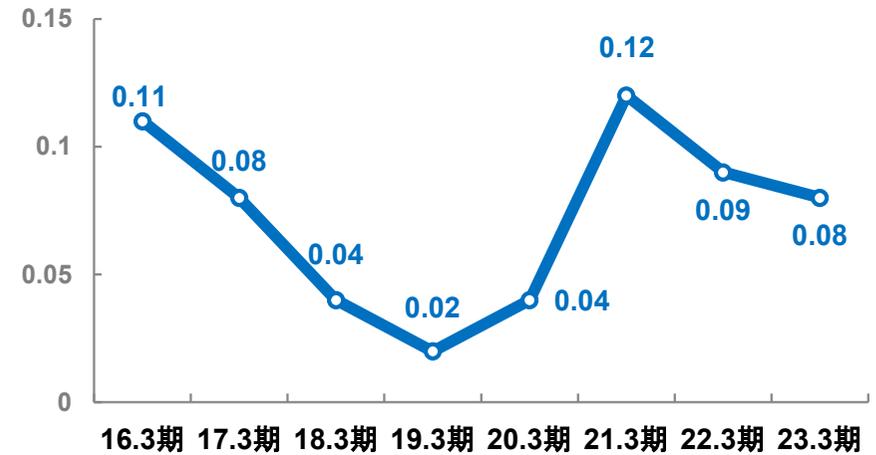


ROE



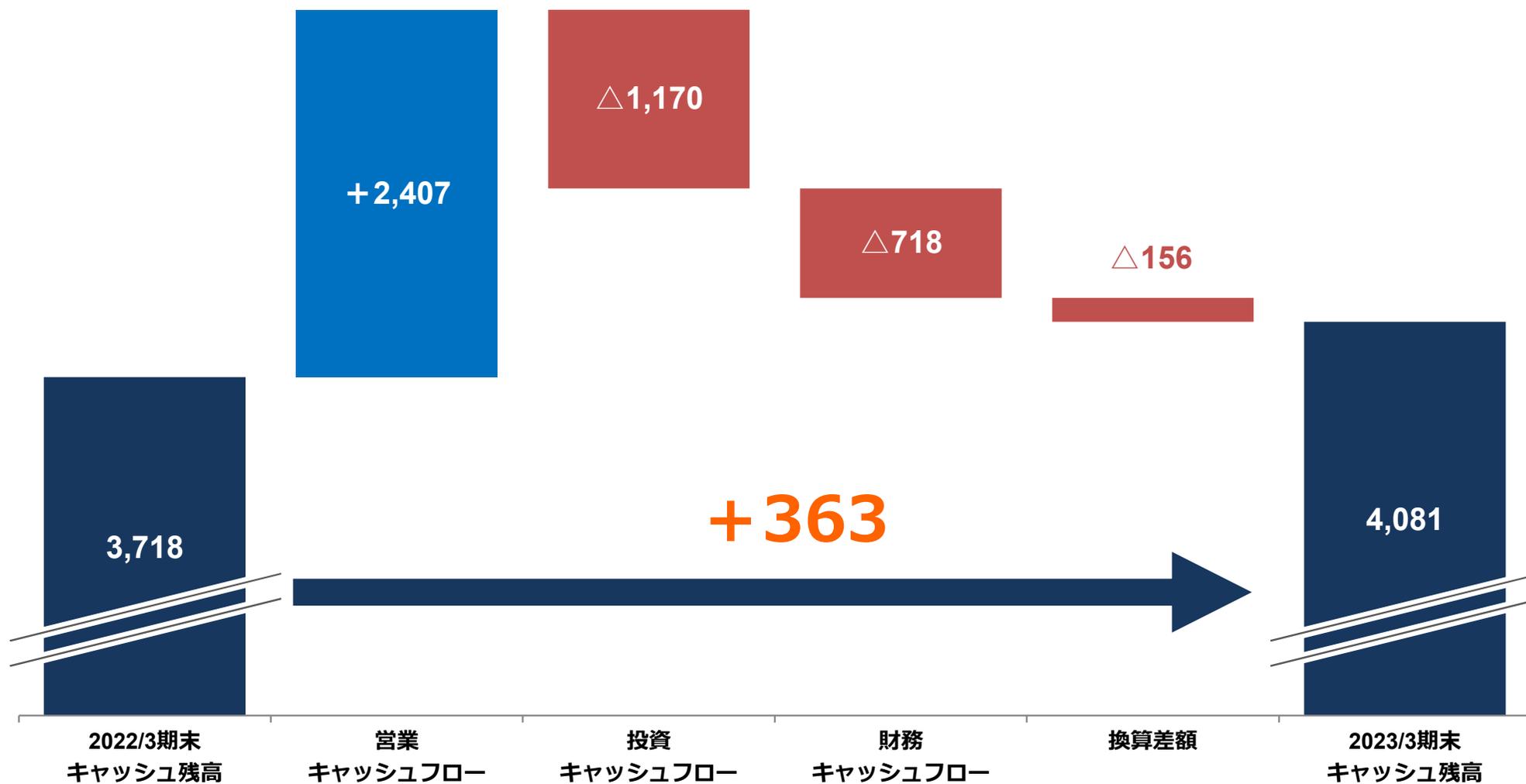
※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

D/Eレシオ



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

(単位：百万円)

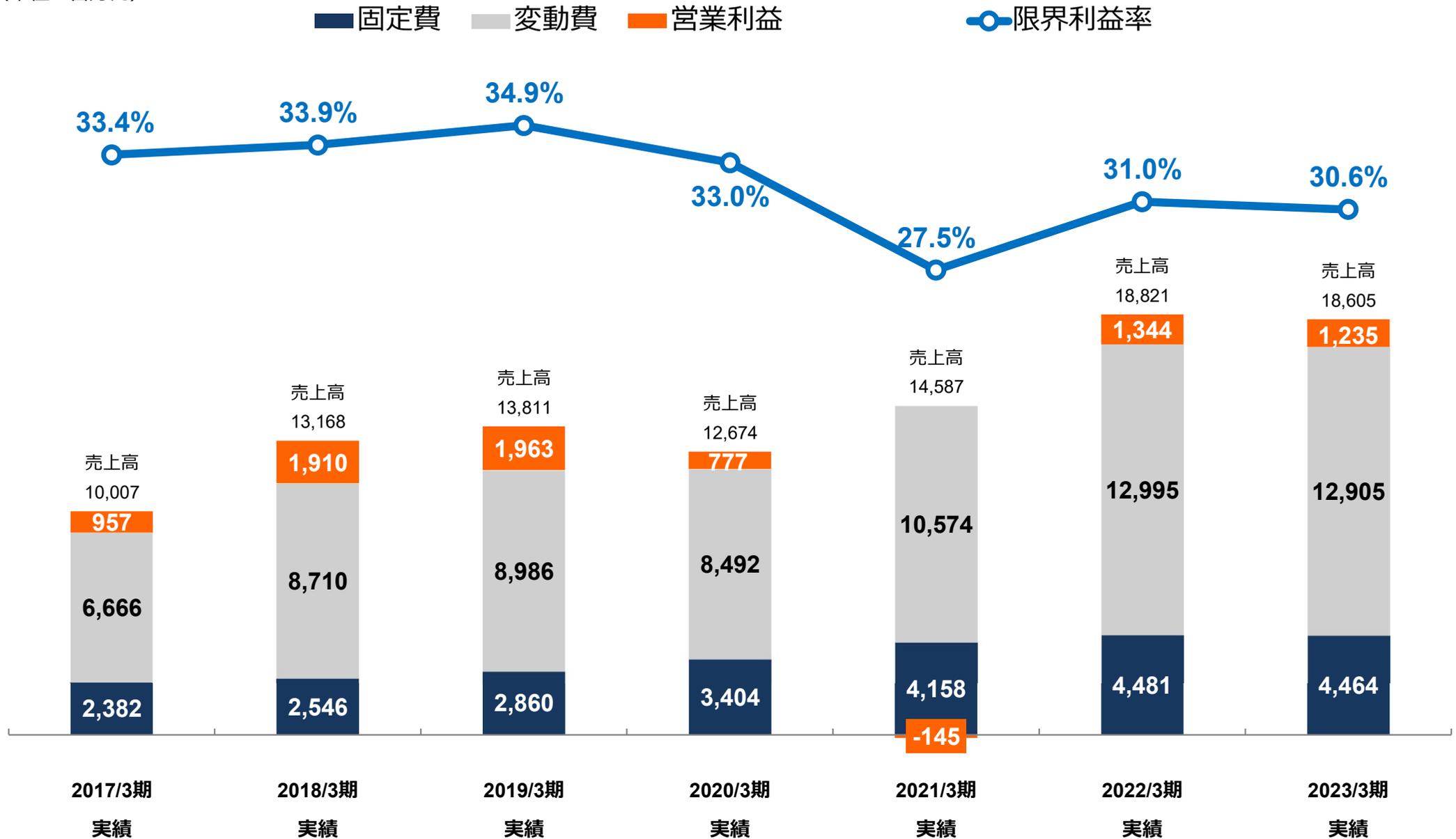


※1年未満に満期が到来する長期性預金(2022/3月期末 32百万円・2023/3月期末 32百万円)については現金及び現金同等物の期末残高に含めておりません。

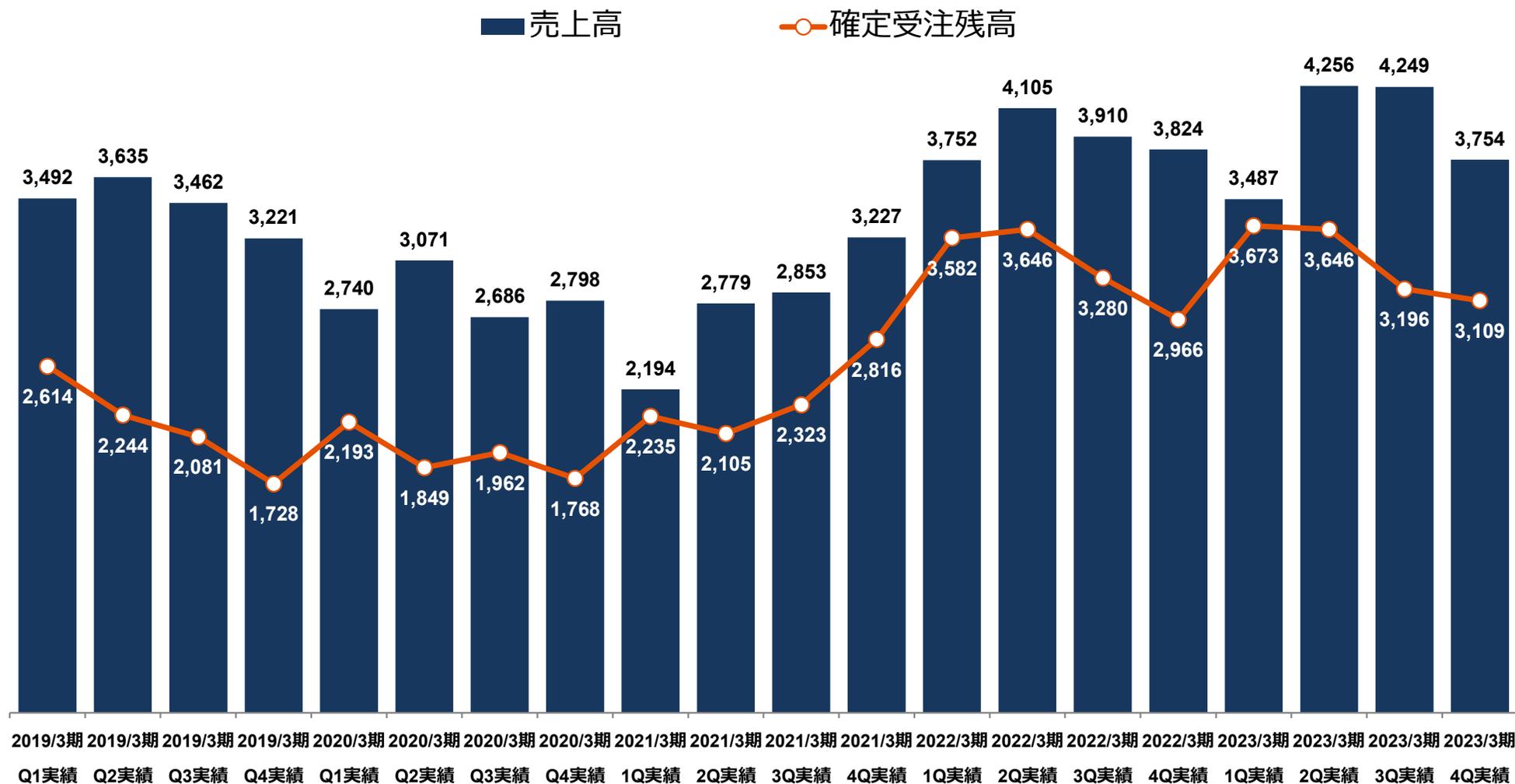
(単位：百万)

Currency	Incoming		Outgoing		Net	期中 平均レート (JPY)	円高ケース(10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比	各通貨		期中平均 レート △10%(JPY)	レート差額	影響額 (YTD)	期中平均 レート +10%(JPY)	レート 差額	影響額 (YTD)
JPY	¥20,000	66%	¥17,400	58%	¥2,600	-	-	-	-	-	-	
USD	\$65.4	29%	\$79.3	36%	\$-13.9	¥135.5	¥121.93	¥-13.55	¥188.32	¥149.03	¥13.55	¥-188.32
EUR	€6.2	3%	€4.3	2%	€1.9	¥141.0	¥126.88	¥-14.1	¥-26.79	¥155.08	¥14.10	¥26.79
PHP	PP4.4	0%	PP424.3	3%	PP-419.9	¥2.5	¥2.21	¥-0.2	¥102.88	¥2.70	¥0.25	¥-102.88
THB	฿108.40	1%	฿41.10	1%	฿67.30	¥3.9	¥3.47	¥-0.4	¥-25.91	¥4.24	¥0.39	¥25.91
VND	0.00 đ	0%	395.30 đ	1%	-395.30 đ	¥0.6	¥0.52	¥-0.1	¥22.68	¥0.63	¥0.06	¥-22.68
Total	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥261.17	-	-	¥-261.17

(単位：百万円)



(単位：百万円)



※ 売上高にはヘルスケア売上を含めておりません。

The Specialist in Filtration
YAMASHIN 



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp